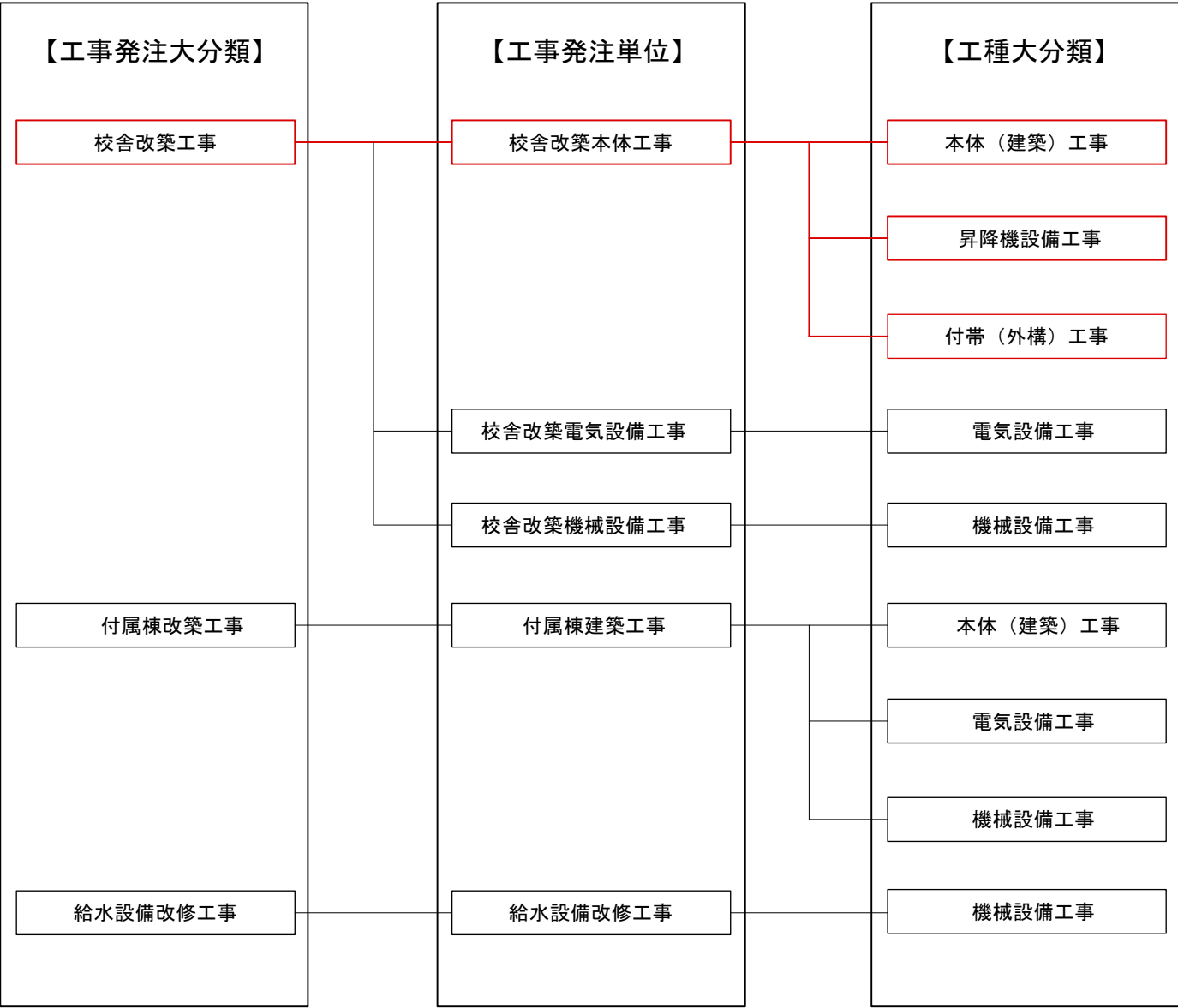


教7-12末吉小学校校舎改築本体工事

曾於市末吉小学校 校舎本体改築工事 設計業務 図面リスト

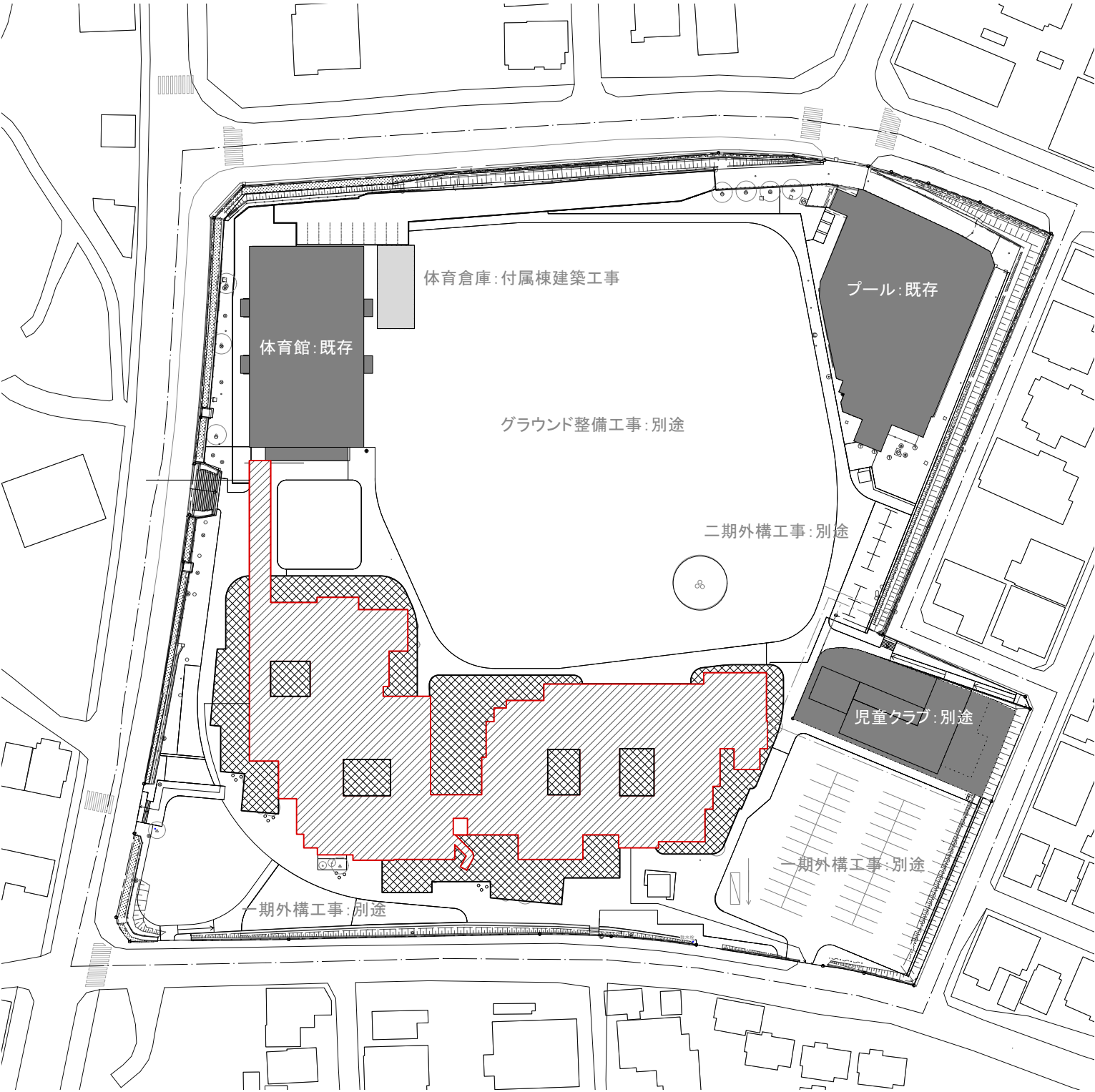
	図面番号	図面名称		図面番号	図面名称		図面番号	図面名称		図面番号	図面名称		図面番号	図面名称
意匠	A-000	工事区分表	意匠	A-401	天井伏図1	意匠	A-526	建具詳細図11	意匠	A-1001	部分詳細図1	意匠	A-1241	家具図39
	A-001	計画概要・案内図		A-402	天井伏図2		A-527	建具詳細図12		A-1002	部分詳細図2		A-1242	家具図40
	A-002	特記仕様書1		A-403	展開図1		A-528	建具詳細図13		A-1003	部分詳細図3		A-1243	家具図41
	A-003	特記仕様書2		A-404	展開図2		A-529	建具詳細図14		A-1004	部分詳細図4		A-1244	家具図42
	A-004	特記仕様書3		A-405	展開図3		A-530	建具詳細図15		A-1005	部分詳細図5		A-1245	家具図43
	A-005	特記仕様書4		A-406	展開図4		A-531	建具詳細図16		A-1006	部分詳細図6		A-1246	家具図44
	A-006	特記仕様書5		A-407	展開図5		A-532	建具詳細図17		A-1007	部分詳細図7			
	A-007	特記仕様書6		A-408	展開図6		A-533	建具詳細図18		A-1008	部分詳細図8		A-1250	家具キープラン 1F (備品)
	A-008	特記仕様書7		A-409	展開図7		A-534	開口面積計算表		A-1009	部分詳細図9		A-1251	家具キープラン 2F (備品)
	A-009	特記仕様書8		A-410	展開図8					A-1010	部分詳細図10		A-1252	家具図50
	A-010	特記仕様書9		A-411	展開図9		A-601	1階平面詳細図1		A-1011	部分詳細図11		A-1253	家具図51
	A-011	特記仕様書10		A-412	展開図10		A-602	1階平面詳細図2		A-1012	部分詳細図12		A-1254	家具図52
				A-413	展開図11		A-603	1階平面詳細図3		A-1013	部分詳細図13		A-1255	家具図53
	A-101	敷地現況図		A-414	展開図12		A-604	1階平面詳細図4		A-1014	部分詳細図14		A-1256	家具図54
	A-102	仮設計画図		A-415	展開図13		A-605	1階平面詳細図5		A-1015	部分詳細図15		A-1257	家具図55
	A-103	敷地求積図		A-416	展開図14		A-606	1階平面詳細図6					A-1258	家具図56
	A-104	建築面積求積図		A-417	展開図15		A-607	1階平面詳細図7		A-1201	家具キープラン 1F (本体)		A-1259	家具図57
	A-105	1階床面積求積図		A-418	展開図16		A-608	2階平面詳細図1		A-1202	家具キープラン 2F (本体)		A-1260	家具図58
	A-106	2階床面積求積図		A-419	展開図17		A-609	2階平面詳細図2		A-1203	家具図1		A-1261	家具図59
	A-107	平均地盤算定図1		A-420	展開図18		A-610	2階平面詳細図3		A-1204	家具図2		A-1262	家具図60
	A-108	平均地盤算定図2		A-421	展開図19		A-611	2階平面詳細図4		A-1205	家具図3			
	A-109	日影図1		A-422	展開図20		A-612	2階平面詳細図5		A-1206	家具図4		A-1301	サインプロット図1
	A-110	日影図2		A-423	展開図21		A-613	2階平面詳細図6		A-1207	家具図5		A-1302	サインプロット図2
	A-111	1階防火区画図		A-424	展開図22		A-614	2階平面詳細図7		A-1208	家具図6		A-1303	サインプロット図3
	A-112	2階防火区画図		A-425	展開図23					A-1209	家具図7		A-1304	サインリスト
				A-426	展開図24		A-701	矩計図1		A-1210	家具図8		A-1305	仕様書
	A-201	一般共通事項		A-427	展開図25		A-702	矩計図2		A-1211	家具図9		A-1306	仕様書
	A-202	外部仕上り表・内部仕上り表1		A-428	展開図26		A-703	矩計図3		A-1212	家具図10		A-1307	仕様書
	A-203	内部仕上り表2		A-429	展開図27		A-704	矩計図4		A-1213	家具図11		A-1308	仕様書
	A-204	内部仕上り表3		A-430	展開図28					A-1214	家具図12		A-1309	仕様書
	A-205	エレメント図1					A-801	階段詳細図1		A-1215	家具図13		A-1310	仕様書
	A-206	エレメント図2		A-501	建具共通事項1		A-802	階段詳細図2		A-1216	家具図14		A-1311	仕様書
	A-207	エレメント図3		A-502	建具共通事項2		A-803	階段詳細図3		A-1217	家具図15		A-1312	仕様書
	A-208	エレメント図4		A-503	建具共通事項3		A-804	階段詳細図4		A-1218	家具図16		A-1313	仕様書
	A-209	エレメント図5		A-504	1F建具キープラン		A-805	階段詳細図5		A-1219	家具図17		A-1314	仕様書
	A-210	エレメント図6		A-505	2F建具キープラン		A-806	階段詳細図6		A-1220	家具図18		A-1315	仕様書
	A-211	エレメント図7		A-506	建具表1		A-807	階段詳細図7		A-1221	家具図19		A-1316	仕様書
	A-212	断熱・吸音範囲図		A-507	建具表2		A-808	階段詳細図8		A-1222	家具図20		A-1317	仕様書
	A-213	防水範囲図		A-508	建具表3		A-809	階段詳細図9		A-1223	家具図21		A-1318	仕様書
	A-214	雨水排水系統図1		A-509	建具表4		A-810	階段詳細図10		A-1224	家具図22			
	A-215	雨水排水系統図2		A-510	建具表5		A-811	階段詳細図11		A-1225	家具図23		A-1401	エレベーター詳細図1
				A-511	建具表6		A-812	階段詳細図12		A-1226	家具図24		A-1402	エレベーター詳細図2
	A-301	配置図		A-512	建具表7		A-813	階段詳細図13		A-1227	家具図25		A-1403	エレベーター詳細図3
	A-302	ピット階平面図		A-513	建具表8		A-814	手摺詳細図1		A-1228	家具図26		A-1404	エレベーター詳細図4
	A-303	1階平面図		A-514	建具表9		A-815	手摺詳細図2		A-1229	家具図27		A-1405	エレベーター詳細図5
	A-304	2階平面図		A-515	建具表10		A-816	手摺詳細図3		A-1230	家具図28		A-1406	エレベーター詳細図6
	A-305	R階平面図		A-516	建具詳細図1					A-1231	家具図29		A-1407	エレベーター詳細図7
	A-306	立面図1		A-517	建具詳細図2		A-901	割付・レベル計画図		A-1232	家具図30			
	A-307	立面図2		A-518	建具詳細図3		A-902	舗装・施設計画平面図		A-1233	家具図31			
	A-308	立面図3		A-519	建具詳細図4		A-903	舗装計画仕様表		A-1234	家具図32			
	A-309	断面図1		A-520	建具詳細図5		A-904	植栽計画平面図		A-1235	家具図33			
				A-521	建具詳細図6		A-905	植栽計画仕様表		A-1236	家具図34			
				A-522	建具詳細図7		A-906	外構詳細図1		A-1237	家具図35			
				A-523	建具詳細図8		A-907	外構詳細図2		A-1238	家具図36			
				A-524	建具詳細図9		A-908	外構詳細図3		A-1239	家具図37			
				A-525	建具詳細図10					A-1240	家具図38			

発注・工事区分表



赤枠内を今回積算範囲とする

発注・工事区分範囲図



赤枠内を今回積算範囲とし、積算大項目はハッチング範囲に従って分けること。
ただし、サイン工事は本体（建築）工事より外側を全て付帯（外構）工事とする。

本体（建築）工事 昇降機設備工事 付帯（外構）工事：今回別途とする

計画概要・案内図				S:1/5000(A3)			
工事名	曾於市末吉小学校校舎改築工事						
建主	曾於市						
建築場所	鹿児島県曾於市末吉町上町二之方6257						
地名番地	鹿児島県曾於市末吉町上町7丁目1-1						
主用途	学校/体育倉庫/体育館/プール:法別表(い)欄(3)項						
工事種別	増築工事						
工期	本体工事:令和7年10月～令和9年3月						
敷地概要							
敷地現況	体育館(残置):1,049㎡ 教室棟(解体):4,226㎡ 図書館(解体):208㎡ 給食室(解体):356㎡ プール工作物(残置):1,377㎡ プール機械室・更衣室(残置):134㎡ その他倉庫類(解体)遺構(解体)児童クラブ(解体)						
都市計画区域	都市計画区域内						
用途地域	第一種中高層住居専用地域	第二種住居地域	準住居地域				
指定建蔽率・容積率	60%・150%	60%・200%	60%・200%				
道路斜線	1.25 適用距離20m	1.25 適用距離20m	1.25 適用距離20m				
隣地斜線	1.25 20mより	1.25 20mより	1.25 20mより				
北側斜線	1.25 10mより	-	-				
日影規制	高さが10mを超える場合 ※既存体育館を超えるため適用						
緑化規制	-						
防火地域	-						
敷地面積	29,162.47㎡						
道路幅員	北西側:15.0m(42条1項1号) 北東側:16.0m(42条1項1号) 南南東側:9.0m(42条1項1号) 南西側:10.0m(42条1項1号)						
建築概要							
	本体校舎		体育倉庫				
構造種別	鉄筋コンクリート造、一部木造		木造				
階数	地上2階		地上1階				
耐火種別	1時間準耐火建築物(イ準耐)		その他建築物				
建物の最高高さ	7,699mm		3,360mm				
最高軒高さ	9,388mm		2,930mm				
平均地盤面	KBM1+0.408m		KBM1+0.400m				
建築面積	3,991.90㎡		106.33㎡				
	既存体育館 プール機械室・更衣室		:1,298.78㎡ :192.27㎡				
	全体		:5,589.28㎡				
延べ面積	1F : 3,075.27㎡ 2F : 2,644.72㎡ 全体: 5,719.99㎡		59.62㎡				
	既存体育館 プール機械室・更衣室		:1,049.26㎡ :134.26㎡				
	全体		:6,963.13㎡				
容積対象面積	6,944.07㎡ (不算入22.50㎡)						
建蔽率/容積率	19.17%(建蔽率) / 23.81%(容積率)						

建築工事特記仕様書

- 共通仕様
国図及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大官庁官房官庁情報部監修の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和7年版）」以下、「標準」という。）による。
2. 標記のうち必要として特記する事項と、その他必要として特記する事項を特記事項とする。
3. 特記仕様
- (1) 項目は、番号に ○ 印の付いたものを適用する。
(2) 特記事項は、○ 印の付いたものを適用する。
○ 印の付かない場合は、※ 印の付いたものを適用する。
○ 印と ※ 印の付いた場合は、共に適用する。
(3) 特記事項に記載の〔 〕 内表示番号は、標記の当該項目、当該図又は当該表を示す。
(4) 特記事項に記載の() は「各部記号参考図」の当該項目を示す。
(5) 製品名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また() 内は製品名を示す。
(6) 図印は「国図」による環境物品等の調達推進等に関する法第10条の2第1項第1号の特定調達品目を示す。グリーン購入法による調達推進品目は、「鹿児島県環境物品等調達方針」の環境物品等調達推進品目一覧表及び別表1（鹿児島県のホームページからダウンロード可能）による。
4. 前払金
契約金額500万円以上の工事については、契約金額（~~金銭又は年度毎の出来高予定額~~）の10分の4を超えない範囲内に限り前払金の支払を請求することができる。
5. 中間前払金又は部分払の選択
「契約金額100万円以上の工事については、契約に当たって中間前払金又は部分払を選択することができる。」
6. 中間前払金
契約金額（~~金銭又は年度毎の出来高予定額~~）の10分の2を超えない範囲内に限り7の全ての要件を満たす場合に中間前払金の支払を請求することができる。
7. 中間前払金の要件
- (1) 工期の2分の1を経過していること。
(2) 工程進捗により工期の2分の1を経過するまでに実施すべきものとされている当該工事に係る作業が行われていること。
(3) 既に行われた当該工事に係る作業に要する経費が請負金額の2分の1以上の額に相当するものであること。
- －部分払－
「前払金を支払ったものについては工期中2回まで、前払金の支払がされていないものは工期中4回までとする。」
9. 火災保険
契約締結後速やかに火災保険に加入し、保険期間は工期後14日とする。
10. 県産資材の優先使用
(1) 工事に使用する資材については、県内で産出、生産又は製造されたもの（以下、「県産資材」という。）の優先使用に努めることとし、さらに、県産資材以外の資材等でも、県内に本店を置く資材業者等から調達しない旨であることを記載すること。
(2) 以下に記載する「指定主要資材」の中で県産資材を使用しない場合、「県産資材等不使用状況報告書」を監督職員に提出し、承諾を得なければならない。
（指定主要資材（7品目）：生コン（レディミックスコンクリート）コンクリート二重製品 石材類 アスファルト合材 木材 樹木 芝）
(3) 前項の「県産資材等不使用状況報告書」において、第1項の資材業者等から調達しない旨であることを、その理由を記載すること。
(4) 工事完成時及び監督職員から指示された場合、「建設資材使用実績報告書」を監督職員に提出すること。
11. 下請工事における管内（県内）建設業者の優先活用
(1) 工事の一部を下請に付する場合は（~~無関係 大規模地域振興局~~）管内に主たる営業所を有する者を活用するよう努めることとする。
(2) 前項で定めた建設業者を活用しない場合、施工計画書等の提出と併せて「下請工事における管内建設業者等不活用状況報告書」を監督職員に提出すること。
(3) 工事完成時及び監督職員から指示された場合、「下請業者使用実績報告書」を監督職員に提出すること。
12. 配置技術者等の中途交代
(1) 配置技術者等の中途交代が認められる場合としては、主任技術者又は監理技術者の死亡、傷病、退職等、真にやむを得ない場合のほか、下記に該当する場合である。
① 受注者の業務によらない理由により工事中止又は工事内容の大幅な変更が発生し、工期が延長された場合
② 工場製作を含む工事であって、工場から現場へ工事の現場が移行する時点
③ 大規模な工事への契約工期が多数年又はぶ場合
上記(1)のいずれの場合であっても、受注者と発注者が協議し、工事の継続性、品質確保等に支障がないと認められる場合のみ中途交代が可能となること。
13. 電子納品
(1) 本工事は、電子納品対象工事であり、電子納品とは、「調査、設計、工事などの各業務段階の最終成果を電子成果品として納品すること」をいう。ここでの電子納品とは、「鹿児島県 曾根市 電子納品運用ガイドライン（案）（令和6年9月）」（令和7年4月）（以下、「ガイドライン」という。）に定める基準に基づいて作成した電子データを指す。
(2) ガイドラインに基づいて作成した電子成果品は電子データ（04-0）で正本1部、副1部の計2部提出する。電子化しない成果品については~~従来通り紙の取扱いとする~~。電子納品レベル及び成果品の電子化の範囲については、事前協議を行い決定するものとする。
(3) 電子成果品を提出する際は、鹿児島県の公開する電子チェックソフトによるチェックを行い、エラーが無いことを確認した後、ウィルス対策を実施した上で提出すること。
14. C A D 図面データの貸与について
本工事に関するC A D図面データの貸与を希望する場合は「C A D図面データ借用に係る誓約書」を県に提出すること。市が貸与するC A D図面データは、本工事の履行に必要な図面及び完成図面の作成においてのみ使用することとし、それ以外の目的で利用してはならない。また、当該C A D図面データは、完成図面提出時までに、受注者において履行期限期間中に複製又は再配布しているもの全てを消去すること。その他、誓約書の記載事項を遵守すること。
15. 暴力関係業者による不当介入を受けた場合の措置
曾根市が関係する建設工事（以下、「市工事業」という。）において、暴力関係業者による不当要求又は工事妨害（以下、「不当介入」という。）を受けた場合は、前項としてこれを拒否するとともに、その旨を速滞なく県民発注者）及び警察に通報すること。県市工事等において、暴力関係業者による不当介入を受けたことにより工程に遅れが生じる等の被害が発生した場合は、県民発注者）と協議を行うこと。
16. ダンプトラック等による通積載等の防止について
(1) 工事用資機材等の積載超過の防止にすること。
(2) 過積載を行っている資材納入業者から、資材を購入しないこと。
(3) 資材等の過積載を防止するため、資材の購入に当たっては、資材納入業者等の利益を不当に害することがないようにすること。
① さいの棒又は物品積載装置の不正確設置によるダンパーが、工事現場に入業者等の安全に害することがないようにすること。
② 「土砂等運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」（以下、「法」という。）の同条の2に定める運搬する土砂等の積載状況を確認し、同一団体等の加入者の使用を促進すること。
(4) 下請契約の相手方又は資材納入業者を選定するに当たっては、交通安全に関する配慮にをけるもの又は交通安全に関しダンプトラック等によって顕著かつ重大な事故を生じさせたものを排除すること。
(5) (1)から(4)の各ことにつき、下請契約における受注者を指導すること。
17. 施工体制台帳の作成等について
本工事の受注者は、工事を施工する一部を下請に付する場合は、施工体制台帳及び添付書類を作成し、工事現場に備え置くとともに、その写しを監督職員に遅滞なく（遅くとも下請工事の着手前までに）提出すること。また、施工体制台帳の記載事項又は添付書類に変更があったときは、その都度、当該変更があった年月日を送付し、変更に関する事項について、作成し提出すること。
18. 施工体制台帳の作成等について
本工事の受注者は、工事を施工するために、建設工事の一部又は以下のアからエの業務を下請に付する場合は、施工体系図を作成し、工事の期間中、工事現場の工事関係者が見やすい場所及び公衆の見やすい場所に提示するとともに、その写しを監督職員に遅滞なく（遅くとも下請工事は業務の着手前までに）提出すること。また、施工体系図の記載事項に変更があったときは、その都度、変更に関する事項について、作成し提出すること。
ア 伐採及び測量・調査等の工事現場で作業を行う業務
イ 土砂やコンクリート等の運搬のみを行う業務
ウ 工事現場の警備（交通誘導を含む）を行う業務
エ その他監督職員が協議を指示した業務等

構造特記参照

設ける	○設ける（既存建築物の一部を使用する）	・設けない	[2.3.1]
設置規模	（-10㎡・20㎡・35㎡・50㎡・100㎡・（ ）㎡）程度		
土上への程度、設置する設備、備品等の種類及び数量は現場説明書による			
監督職員スペースと工事監理業務の職員スペースは間仕切り等で仕切る			
監督職員事務所の仕上り			
部 位	仕 上 り		
床	合板張り又はビニル床シート張り		
内壁、天井	合板又はせっこうボード張り、合成樹脂エマルジョンペイント塗り		
屋根	塗装溶剤系塗料を施工した合板張り、又は、鉄板張り、調合ペイント塗り		

構内既存の施設 ※利用できない ・利用できる(※有償 ・無償) [2.3.1]
↑既存校舎の引き込み工事を別途行うため

構内既存の施設 ※利用できない ・利用できる(※有償 ・無償) [2.3.1]

規格 ※下図による ・監督職員の承諾による
材質 ※県産杉板 ・監督職員の承諾による

工事名

発注者

設計者

監理者

施工者

工期 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日

工事

150 × 150程度

900

1800

※設置位置は、監督職員との協議による。また取付けは、強風に対し安全な工法とする

材料及び工法 種別 [3.2.3] [表3.2.1]

・A種	※B種	・C種	・D種
C種の場合(発生場所)			
(連絡先)			
(運搬)	・発生原因者側	・本工事	km

※構内指示の場所	受入施設名	所在地	[3.2.5]
受入れ場所	()	()	
受入れ場所での設置	(・数均し	※たい積	
搬出距離 (12.1) km			
処分費	○有償	※無償	
上記に準ずる受入れ場所・距離は参考であり、実施にあつては監督職員と協議のうえ決定する			
構内指示の場所			
・処理の方法	(・数均し	・たい積	
資源利用法に基づく届け出			

調査位置、柱状図、地層構成、地下水位
※資料提供
・図示による（ ） ・

③ 杭基礎 [3.2.1] [4.2.4] [4.3.4、5] [4.4.4] [4.5.5、6]

○ 図示による（構造図） ・

・ 直接基礎

・ 支持地盤の種類及び位置（基礎底部の位置含む）

○ 図示による（構造図） ・

・ 長期設計支持力度

・ （ ） kN/m^2 ・

試験堀（掘り切り地）による支持地盤の確認 [3.2.1]

・ 行う 位置等は図示による（ ）

・ 行わない

地盤の載荷試験 [4.2.4]

・ 行う 試験の位置、方法等は図示による（ ）

・ 行わない

種類

- ・遠心カ高強度プレストレストコンクリート杭（PHC杭）
- ・外殻鋼管付きコンクリート杭（SC杭）
SC杭の鋼管材料 ・SKK400 ・SKK490
- ・プレストレスト鉄筋コンクリート杭（PRC杭）

試験態

- ・行う 孔径はオーガ径とする 位置及び長さは図示による（ ）
試験場の施工は試験杭の施工に先立ち行う
- ・行わない

試法		種手、性能等 (種別: 種類、性能及び曲げ強度区分)					[4.2.2]	[4.3.3]
	種類	コンクリート強度 (N/mm ²)	杭径 (mm)	杭長 (m)	継手数	長期設計支持力 (kN/本)		
試験杭	上杭							
	中杭							
	下杭							
本杭	上杭							
	中杭							
	下杭							
試験杭の施工 ※本杭の施工に先立ち行う								
試験杭の位置、本数		※最初の一本		・図示による ()				

[illegible]

7

鉄骨工事

①

鉄骨製作工場

②

鉄骨製作工場における
施工管理技術者

③

鋼材

④

高力ボルト

⑤

普通ボルト

⑥

溶融亜鉛めっき高力
ボルト

⑦

アンカーボルト

⑧

溶接材料

⑨

ターンバックル

鉄骨製作工場の加工能力

※建築基準法第68条の25に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認定を受けた(株)日本鉄骨評価センター及び(株)全国鉄骨評価機構(旧(社)全国鐵構工業協会)の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める(H) グレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場・監督職員の承諾する工場(標仕 7.1.1以外の適用範囲に限る。)

※渡り廊下部分の鉄骨工事については、(J)グレードでも可とする。

○配置する ・配置しない

材料等

種類の記号	適用場所	規 格
B C R 295	※図示による()	※JISによる ・大臣認定による
S N 490	※図示による()	※JISによる ・大臣認定による
S S 400	※図示による()	※JISによる ・大臣認定による
	※図示による()	※JISによる ・大臣認定による

有効断長比(圧縮材に限る)
※図示による

高力ボルトの区分

○トルシア高力ボルト
○JIS高力ボルト

セットの種類 ※2種(F10T)

高圧ボルトの径 ○図示による(構造図による)

ボルトの繰延距離、ボルト間隔、ゲージ等
○図示による

摩擦面の処理方法
○標仕 7.4.2(1)による

すべり係数試験
※行わない
・行う
試験方法等
・図示による()

ボルト及びナットの材料

※標仕 表7.2.3 (JIS附属書品)による
・標仕 表7.2.3 (JIS附属書品)又は、JIS本体規格(ISO規格)による。(JIS本体規格品による場合は、ボルトの種類を呼び径六角ボルト又は全ねじ六角ボルト、強度区分を4.6又は4.8の鋼製とし、ナットの種類を六角ナット・Oの鋼製とする。なお、呼び径六角ボルトの軸径の最大寸法は、ボルトの径の値以下とする。)

座金
※標仕 7.2.3(4)による

ボルトの径
○図示による()

ボルトの繰延距離、ボルト間隔、ゲージ等
○図示による

セットの種類

※1種(F81相合)

溶融亜鉛めっき高力ボルトの径
○図示による()

溶融亜鉛めっき高力ボルトのめっき前の孔径
○大臣認定を受けた内容による

ボルトの繰延距離、ボルト間隔、ゲージ等
○図示による

摩擦面の処理
○プラスチック処理(表面粗度50μmRz以上)又は、リン酸塩処理
リン酸処理とした場合は、すべり係数の確認を行う。
※すべり係数試験
試験方法等
・「高力ボルト接合設計施工ガイドブック(日本建築学会)」による

適用

○構造用アンカーボルト
○ABR400 セットの種類(JIS B 1220)
○ABR400 セットの種類(JIS B 1220)
・SBR400B アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度
・標仕 表7.2.3による

形状、寸法
○図示による(構造図による)

○建築用アンカーボルト

材質
○SS400

アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度
○標仕 表7.2.3による

形状、寸法
○図示による(構造図により)

ボルトの繰延距離、ボルト間隔、ゲージ等
○図示による(構造図による)

溶接材料

※標仕 7.2.5(1)(2)による
・標仕 7.2.5(1)(2)以外の溶接材料

材料及び使用箇所
・図示による()

種類

建築用ターンバックル胴
※割棒式
建築用ターンバックルボルト
※羽子板ボルト

ねじの呼び
○図示による()

7

鉄骨工事(続き)

⑩

床構造用
デッキプレート

⑪

スタッド

⑫

柱底均しモルタル

⑬

工作図

⑭

製作精度

⑮

鉄骨の仮組

16

溶接技能者の技量
付加試験

⑰

溶接接合

⑱

現場溶接の有無

⑲

入熱、バス間温度の
溶接条件

⑳

溶接部の試験

材質、形状及び寸法

※頭付きスタッド JIS B 1198

呼び名等

呼び名	呼び長さ(mm)	適用箇所
○6	110	渡り廊下2 Fスラブ
・19		
・22		

モルタルの種類

○無収縮モルタル
無収縮モルタルの材料、調合等
※標仕 表7.2.9(2)(7)から(11)による
・標仕 表7.2.9(1)によるモルタル

監督職員による現況検査

○行わない
・行う

増築工事を含め、既存建築物との取り合う箇所がある場合は現場実測のうえ、作成を行う。

鉄骨の製作精度は、JISS 6 付則6「鉄骨精度検査基準」に加えて次による
通しダイヤフラムの突合わせ継手の食い違い寸法
※H12建造第1464号第二号イ(2)による
アンダーカットの寸法
※H12建造第1464号第二号イ(2)による
食い違い、仕口のずれの検査方法及び補強方法
・「突合わせ継手の食い違い・仕口のずれの検査・補強マニュアルによる」

○行わない
・行う

仮組を行う範囲
・図示による()

試験の要領及び試験を要する溶接箇所

・図示による()

開先の形状

○図示による()

スカラップの形状

○図示による()

エンドタブの切断する部分

○全て
・見え掛り部となる部分
・切断する部分なし

切断する範囲
○エンドタブ、耳当て金等は、梁フランジの端から直線上に切断する。その際の残し寸法は、5mm以下とする。なお、切断面が交差する場合は、交差部をアール状に加工する。

切断面の仕上げ
○標仕 7.6.11(1)(b)②による

溶接部の余盛り高さ
※JASS 6 付則6「鉄骨精度検査基準」付表3「溶接」による

低応力高サイクル疲労を受ける部位
○図示による()

・無し
○有り

適用箇所
○図示による(構造図による)

鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件

○図示による()

適用箇所
・柱、梁、プレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部
○図示による(構造図による)

完全溶込み部の超音波深傷試験

7.6.12 7.6.2 7.6.3

・行わない
※行う
○工事溶接の場合
・全数検査
○抜取検査
AQL(%) 4.0 2.5
節 節 全て
検査水準 第6水準

・工事現場溶接の場合
○全数検査
・計数連続生産型抜取検査
AQL(%) 4.0 2.5

突き合わせ継手の食い違い仕口のずれの検査
「突き合わせ継手の食い違い仕口のずれの検査・マニュアル(建築研究所監修)」による
・抜き取り検査 ①
※抜き取り検査 ②
JASS 6 付則6「鉄骨精度検査基準」の付表3「溶接」に関する試験方法等
・JASS 6 10.4「受入検査」e.溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。ただし、完全溶込み溶接部の外観検査の抜取箇所は、超音波深傷試験の試験箇所と同一とする。外観試験の不合格箇所は、すべて標準仕様書7.6.13による補修を行い、再試験する。

7

鉄骨工事(続き)

②①

錆止め塗装

22

耐火被覆

②③

建方精度

②④

アンカーボルト等の
設置

25

軽量形鋼構造

26

溶融亜鉛めっき
(構造耐力上主要な部分)

27

貫貫通孔の補強

8

コンクリート・ブロック・ACパネル・押出成形セメント板工事

1

補強コンクリート
ブロック造

2

コンクリートブロック
帳壁及び壁

ブロックの種類等

断面形状及び圧縮強さによる区分
※空洞ブロックC(16)
※120
※400
※200
※150

正味厚さ(mm)

モジュール呼び寸法(mm)

長さ

高さ

化粧の有無

適用箇所

備 考

※無 ・有
※無 ・有

モルタルの割合(容積比)

・セメント() : 砂()

各部の配筋 ※図示

モルタル又はコンクリートで充填するブロックの範囲
※図示

ブロックの種類等

断面形状及び圧縮強さによる区分
・空洞ブロックC(16)
・型枠状ブロック 20
※120
※400
※200
※150

正味厚さ(mm)

モジュール呼び寸法(mm)

長さ

高さ

化粧の有無

(表8.3.1)以外の適用箇所

備 考

※無 ・有
※無 ・有
※無 ・有
※無 ・有

壁の厚さ
壁の高さが2m以下
壁の高さが2mを超え
壁鉄筋の継手、定着及び末端部の折り曲げ形状
※図示
各部の配筋 ※図示
化粧目地の有無 ・無 ・有

工法
コンクリートブロック積壁の積高さは、壁厚の25倍かつ3500以内とし、その他の部分は同厚の鉄筋コンクリート造壁壁とする

8

コンクリート・ブロック・ACパネル・押出成形セメント板工事(続き)

3

ALCパネル

④

押出成形セメント板
(E C P)

8.2.2~5

パネルの区分

単位荷重(N/㎡)

厚さ(mm)

幅(mm)

耐火性能

表面加工

横法の種別

・外壁用

・間仕切壁用

・屋根用

・床用

パネル相互の接合部に挿入する耐火目地材
パネル幅の最小限度を300mm未満とする場合
パネル短辺小口相互の接合部、外壁、間仕切壁パネルの出隅及び入隅のパネル接合部並びにパネルと他部材との取り合い部の目地幅(mm) ※10~20
外壁、間仕切壁パネルの伸縮調整目地への耐火目地材の充填 ・適用する ・適用しない

外壁、屋根パネルの構造
外壁パネル構造及び間仕切壁パネル構造における耐火性能 [8.2.2~5]
パネルの種類 形 状 厚さ(mm) 幅(mm) 工法の種別 耐火性能
○外壁パネル ○F・F-R・D・D-R・T・T-R・F・F-R・D

9

防水工事（続き）

1 アスファルト防水（続き）

屋根露出防水
防水層の種類

種 別	施工箇所	断熱材	仕上塗料		備 考
			種類	使用量	
・D-1		標仕 9.2.2 (9) (種類)	・アスファルト ルーフィング類 の製造所の仕様	・アスファルト ルーフィング類 の製造所の仕様	
・D-2					
・D-3					
・D-4					
・D1-1		（厚さ） ※25mm ・50mm			
・D1-2		・ ・			

高日射反射率防水の適用 ☐ ・有 ※無

屋根露出防水絶縁断熱工法の場合の、ルーフトレンド回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置
※図示 ・

屋根露出防水絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法の、脱気装置の種類及び設置数量
種類 ・ ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定
設置数量 ・ 個 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定

防水層の種類

種 別	施工箇所	種 別	施工箇所
・E-1		・E-2	

保護層 ・設ける（※図示 ・） ・設けない

防水層下地の立上り
※コンクリート打直し仕上げ 標仕 表 6.2.4 [打直し仕上げ種別] のB種 ・

押え金物の材質、形状及び寸法
※アルミニウム製 L=30×15×2.0mm程度 ・
防水層の下地のモルタル塗り ・適用する（施工範囲 ※図示 ・）
・適用しない

屋根排水溝 ※図示 ・

施工標準 ※監督職員と表示内容を協議し、指示の位置に標準を取り付ける

防水層の種類 [9.3.2.3] [表9.3.1~3]

種 別	施工箇所	断熱材	防湿用シート	仕上塗料		備考
				種類	使用量	
・AS-T1	屋根	標仕 9.3.2 (3) (f) (種類)	・設ける (改質アス ファルトシー トの製造所の 仕様)	・改質アス ファルトシー トの製造所の 仕様	・	
・AS-T2						
・AS-T3						
・AS-T4						
・AS-J1		（厚さ） ※25mm ・ 50mm	・設けない			
・AS1-T1						
・AS1-J1						

高日射反射率防水の適用 ☐ ・有 ※無

改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※標仕 表9.3.1から表9.3.3による
用途による区分 ・
材料構成による区分 ※R種
厚さ ・ mm以上

粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
用途による区分 ・
材料構成による区分 ※R種
厚さ ・ mm以上

部付粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
用途による区分 ・
材料構成による区分 ※R種
厚さ ・ mm以上

※標仕 表9.3.2から表9.3.3による

部付粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
用途による区分 ・
材料構成による区分 ※R種
厚さ ・ mm以上

※標仕 表9.3.2から表9.3.3による

押え金物の材質、形状及び寸法
※アルミニウム製 L=30×15×2.0mm程度 ・

屋根露出防水絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法の、脱気装置の種類及び設置数量
種類 ・ ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定
設置数量 ・ 個 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定
施工標準 ※監督職員と表示内容を協議し、指示の位置に標準を取り付ける

3 合成高分子系
ルーフィングシート防水

[9.4.2~4] [表9.4.1~3]

種 別	施工箇所	可塑性移行防水 シートの材質	断熱材	仕上塗料		備考
				種類	使用量	
・S-F1		※発泡ポリエ チレンシート	標仕 9.4.2 (3) (a) (b) (厚さ) ※25mm	・ルーフィング シートの製造所の 仕様	・ルーフィング シートの製造所の 仕様	
・S-F2						
・S-M1						
・S-M2						
・S1-F1		※発泡ポリエ チレンシート	標仕 9.4.2 (3) (a) (b) (厚さ) ※25mm	・ルーフィング シートの製造所の 仕様	・ルーフィング シートの製造所の 仕様	
・S1-F2						
・S1-M1		標仕 9.4.2 (3) (a) (a) による (種類) (厚さ) ※25mm	・	・ルーフィング シートの製造所の 仕様	・ルーフィング シートの製造所の 仕様	
・S1-M2						

高日射反射率防水の適用 ☐ ・有 ※無

9

防水工事（続き）

3 合成高分子系
ルーフィングシート防水

④ 塗膜防水

⑤ ケイ酸質系塗布防水

⑥ シーリング

⑦ 保証書及び期間

防水工事の施工について、10年保証を提出すること。なお、保証書は元請業者と施工業者の連帯とする。
(シーリングを除く)

10

石工事

1 施工

2 石材等

3 外壁湿式工法

4 内壁空積工法

5 外壁乾式工法

6 床及び階段の石張り

石材の割付け ・図示 [10.1.3.5]

粗面仕上げの場合のみ込みとなる部分の仕上げ
・図示 ・
屋内の床を本座きとする場合のワックスがけ
・行う（適用場所 ・すべて ・） ・行わない

[10.2.1.3] [表10.2.1.2]

天然石

施工箇所	岩石の種類	等 級	形状及び寸法 (mm)	厚さ (mm)	表面仕上げ の種類	備 考
・床石	御影石	※2等品	※正方形に近い矩形 (石材1枚の面積が0.8㎡以下)	・図示	・粗磨き ・本磨き	
		※2等品	※正方形に近い矩形 (石材1枚の面積が0.8㎡以下)	・図示	・粗磨き ・本磨き	

ジェットバーナー仕上げのパワ仕上げの有無
・有 ・無

テラゾブロック

施工箇所	種石の種類	種石の大きさ (mm)	形状に よる区分	仕上げ面に よる区分	寸法 (mm)	表面仕上げ の種類	備 考
	※大理石 ・花こう岩	※1.5~12	・平もの ・役もの	・片面 ・両面	・図示		

テラゾタイル

施工箇所	種石の種類	種石の大きさ (mm)	寸法による区分	表面仕上げ の種類	備 考
	※大理石 ・花こう岩	※1.5~12	・300型 ・400型		

取付け用モルタル、既調合の目地モルタル、石裏面処理材、裏打ち処理材、金物の固定に使用する
充填材料等
※専門工事業者の指定する製品 ・

[10.2.2.3] [10.3.2.3]

受金物 材質 ※SUS304 ・
形状及び寸法 ・L=75×75×6 (mm) の加工 長さ=100mm
・L=75×75×6 (mm) の加工 長さ=150mm

アンカーの材質及び寸法 ※SS400 ・ 寸法 ・
あと施工アンカーの材質及び寸法等 種類 ・ 材質 ・ 寸法 ・
ドレンパイプの材質 ・樹脂ネット製パイプ クロスメッシュ巻き 25~35φ ・
石裏面処理 ・適用する ・適用しない
裏打ち処理 ・適用する ・適用しない

下地ごしらえ ※流し筋工法 ・あと施工アンカー工法 ・あと施工アンカー、横筋流し工法

目地 一般目地 目地幅 (mm) ※6以上 ・
シーリング材 目地幅 ・標仕 (表9.7.1) による
伸縮調整目地 位置 ※標仕 表11.1.1 による ・図示
シーリング材 目地寸法 ・標仕 (表9.7.1) による
目地寸法 ※幅・深さとも10mm以上 ・図示

[10.2.2] [10.4.2.3]

受金物 材質 ※SUS304 ・
形状及び寸法 ・L=75×75×6 (mm) の加工 長さ=100mm
・L=75×75×6 (mm) の加工 長さ=150mm

アンカーの材質及び寸法 ※SS400 寸法 ・
あと施工アンカーの材質及び寸法等 種類 ・ 材質 ・ 寸法 ・
石裏面処理 ・適用する ・適用しない
裏打ち処理 ・適用する ・適用しない

下地ごしらえ ※あと施工アンカー、横筋流し工法 ・あと施工アンカー工法

目地 一般目地 目地幅 (mm) ※6以上 ・
シーリング材 目地幅 ・標仕 (表9.7.1) による
伸縮調整目地 位置 ※6mごと ・図示
シーリング材 目地寸法 ※幅・深さとも10mm以上 ・図示

乾式工法的方式による金物の種類、形状、寸法等 [10.2.2] [10.5.2.3] [表10.2.4]

※標準表10.2.11による
(右式 ・スライド方式 ・ロッキング方式)
(・図示による)
アンカーの材質及び寸法 ※ステンレス (SUS304) M10 ・
あと施工アンカーの材質及び寸法等 (・) 種類: 材質: 寸法:
だば用の穴の位置 ※標仕 10.5.2 (2) (7) による ・図示
石裏面処理 ・適用する ・適用しない
裏打ち処理 ・適用する ・適用しない
建築基準法に基づく耐風圧に対応した工法
1章 適用区分による風圧力の (・1.0 ・1.15 ・1.3) 値の風圧力に対応した工法

目地 目地幅及び深さ (mm) ※8以上 ・
シーリング材 ※標仕 (表9.7) による ・図示

[10.6.2.3]

床石張りの浸透性給水防止剤 ・適用する ・適用しない
床石張りの石裏面処理 ・適用する ・適用しない
階段張りの石裏面処理 ・適用する ・適用しない

目地 一般目地 目地幅 (mm) ・図示 ・
・屋外 4以上 ・屋内 3~6
シーリング材 ・適用する ・適用しない

伸縮調整目地 位置 ※床面積30m2程度ごと、縦長い通路の場合6m程度ごと及び他の部材と
取り合う箇所
・図示
シーリング材の目地寸法
※幅・深さとも10mm以上
・図示

10

石工事（続き）

7 笠木、甲板等の石張り

11 タイル工事

3 有機系接着剤による
タイル張り

4 階段滑り止め

取付け工法 ・乾式工法
石材の厚さ ・ mm
特殊部位用金物 ※標仕 10.2.2 (3) ・
材質 ※ステンレス (SUS304)
寸法 引金物 ・
だば ・
かすがい ・
受金物 ・
乾式工法的方式による金物の種類、形状、寸法等
ファスナー ・図示 ・標仕 (表10.2.4) に準ずる
(方式: ・スライド方式 ・ロッキング方式)
あと施工アンカーの材質及び寸法等 種類 ・ 材質 ・ 寸法 ・
石裏面処理 ・適用する ・適用しない
乾式工法の場合の取付け代 ※70mm程度
石材の裏面の補強用モルタル ・適用する ・適用しない

[10.2.2] [10.7.1.2]

位置 ※標仕 表11.1.1による ・図示
目地寸法 ※標仕 表9.7.3による ・図示

[11.1.3] [表11.1.1]

タイルの形状、寸法等 [11.2.2.3.6]

施工箇所	種類	形状/寸法 (mm)	吸水率による区分 I類 II類 III類	うわぐすり 施すう 無う	役物 有 無	色 標準 特注	再生 材料の 適用 ☐	耐凍害性 有 無	耐滑 り性	備考
			・	・	・	・	・	・	・	
			・	・	・	・	・	・	・	
			・	・	・	・	・	・	・	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
試験張り ・行う ※行わない
見本焼き ・行う ※行わない
下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理
・目荒し工法 (高圧水洗処理) ・MCR工法 ・
壁タイル張りの工法
内装タイル ・密着張り ・改良圧着張り
外装タイル ※密着張り ・改良圧着張り
内装タイル以外のユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り

既製調合モルタル
モルタル下地としてのタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を
予め工場において所定の割合に配合した材料とする
(品質・性能・試験方法) 建築材料等品質性能表による

[11.3.2~4.7]

タイルの形状、寸法等

施工箇所	種類	形状/寸法 (mm)	吸水率による区分 I類 II類 III類	うわぐすり 施すう 無う	役物 有 無	色 標準 特注	再生 材料の 適用 ☐	耐凍害性 有 無	耐滑 り性	備考
			・	・	・	・	・	・	・	
			・	・	・	・	・	・	・	
			・	・	・	・	・	・	・	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
試験張り ・行う ※行わない
見本焼き ・行う ※行わない
接着剤のホルムアルデヒド放数量 ※ 規制対象外 ・
目地のシーリング材
打継ぎ目地 ※ポリウレタン系シーリング材 ・
ひび割れ誘発目地 ※ポリウレタン系シーリング材 ・
伸縮調整目地 ※変成シリコン系シーリング材 ・
その他の目地 ※変成シリコン系シーリング材 ・
下地調整塗材塗りを行うコンクリート素地面の処理
・MCR工法 ・目荒し工法 (高圧水洗処理)

※磁器製 (・)
・ (・)

〇〇〇〇
〇〇〇〇
〇〇〇〇
〇〇〇〇

MARU. architecture

有限会社マル・アーキテクチャ
一級建築士事務所
東京都知事登録第59575号

高野 洋平
一級建築士
東京都知事登録
第329236号

DAI
DAI ARCHITECTURE, INC.

株式会社DAI建築DESIGN
一級建築士事務所
東京都知事登録第11-6-1号

ARUP

オーブ・アラップ・アンド・パートナーズ・ジャパン・リミテッド
東京都知事登録第35571号

富岡 良太
一級建築士登録第355621号
構造設計一級建築士登録
第10495号

菅 健太郎
一級建築士登録第318575号
設備設計一級建築士登録
第10495号

向井 一輝
一級建築士登録第328591号
設備設計一級建築士登録
第4493号

Project Title
教7-12末吉小学校校舎改築本体工事

Client
曾於市

Name of Drawing
特記仕様書

Scale
-

Architect
Drawn by SHIN IRIE
Checked by YOHEI TAKANO

Date
- - - - - A-005

[illegible]

⑮ 左 官 工 事	① モルタル塗り	モルタル ○現場調合材料 ・既調合材料 (材料：) 既製目地材 ・設ける 施工箇所() 形状(※図示) ○設けない 床の目地 ○設ける (目地割り ※2㎡程度(最大目地間隔3m程度)) (種類 ※押し目地) ・設けない 外装壁タイル張り下地等の下地モルタル塗り及び下地調整塗材塗りの接着力試験 ※適用する ・適用しない ・防水剤 (品質・性能・試験方法) 建築材料等品質性能表による	[15. 3. 2、5]																																																									
	② ラス系下地	ラス系下地 ・通気構法単層下地 換気口部の措置 ・公共木造建築標仕(11.4.3)(2)(9) ○通気構法二層下地 ・直張りラスモルタル下地 ・直張りラスシートモルタル下地 耐力壁、耐火構造、準防火構造等の指定(1時間準耐火構造) ラスの材料 種類 (変型ラ素網) 材料の記号及び単位面積あたりの質量 (M、700g/㎡) ラスシートの材料 ラス目による区分 ○M ・ 山高、山ピッチ、質量及び溶接区分による区分 ○LS4(建築基準法に基づく耐力壁) ・ ステープルの形状及び寸法(線厚:0.56/幅:1.15/長:19) 直張りラスシートモルタル下地で建基法に基づく耐力壁のラスシートの施工 () せっこうボード ・ ・せっこう系 ○セメント系 [15. 5. 2] [表15. 5. 1]	[15. 2. 4]																																																									
	③ セルフレベリング材塗り	建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・ 仕上塗材の種類 ・薄付け仕上塗材 <table><tr><th>種 類</th><th>仕上げの形状</th><th>工 法</th><th>吸放湿性</th><th>防火材料</th></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・適用する</td><td>・</td></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・適用する</td><td>・</td></tr></table> ・厚付け仕上塗材 <table><tr><th>種 類</th><th>仕上げの形状</th><th>工 法</th><th>吸放湿性</th><th>上塗り</th><th>防火材料</th></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・適用する</td><td>・適用する</td><td>・</td></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・適用する</td><td>・適用する</td><td>・</td></tr></table> ○覆層仕上塗材 <table><tr><th>種 類</th><th>仕上げの形状</th><th>工 法</th><th>上塗りの種類</th><th>耐熱性</th><th>防火材料</th></tr><tr><td>防水型覆層塗材</td><td>凸凹 ゆずはだ</td><td>吹付</td><td>溶媒 ※水系 ・ 樹脂 ※79%系 ・ 外観 ※つやあり ・</td><td>※耐熱性 ・ 3種 ・</td><td>・</td></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr></table> ・軽量骨材仕上塗材 <table><tr><th>呼 び 名</th><th>防火材料</th></tr><tr><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td>・</td><td>・</td></tr></table>	種 類	仕上げの形状	工 法	吸放湿性	防火材料	・	・	・	・適用する	・	・	・	・	・適用する	・	種 類	仕上げの形状	工 法	吸放湿性	上塗り	防火材料	・	・	・	・適用する	・適用する	・	・	・	・	・適用する	・適用する	・	種 類	仕上げの形状	工 法	上塗りの種類	耐熱性	防火材料	防水型覆層塗材	凸凹 ゆずはだ	吹付	溶媒 ※水系 ・ 樹脂 ※79%系 ・ 外観 ※つやあり ・	※耐熱性 ・ 3種 ・	・	・	・	・	・	・	・	呼 び 名	防火材料	・	・	・	・	[15. 6. 2]
	種 類	仕上げの形状	工 法	吸放湿性	防火材料																																																							
	・	・	・	・適用する	・																																																							
	・	・	・	・適用する	・																																																							
	種 類	仕上げの形状	工 法	吸放湿性	上塗り	防火材料																																																						
	・	・	・	・適用する	・適用する	・																																																						
	・	・	・	・適用する	・適用する	・																																																						
	種 類	仕上げの形状	工 法	上塗りの種類	耐熱性	防火材料																																																						
防水型覆層塗材	凸凹 ゆずはだ	吹付	溶媒 ※水系 ・ 樹脂 ※79%系 ・ 外観 ※つやあり ・	※耐熱性 ・ 3種 ・	・																																																							
・	・	・	・	・	・																																																							
呼 び 名	防火材料																																																											
・	・																																																											
・	・																																																											
5 ALCパネルの場合の下地処理	内壁目地部の形状 ※V形目地付き ・	[15. 6. 4]																																																										
6 マスチック塗料塗り	種別 ・A種 ・B種(仕上材塗り：EP-G ※B種 ・A種)	[15. 7. 2]																																																										
⑦ セっこうプラスター塗り	下塗り ○既調合プラスター(下塗り用) ・現場調合プラスター(下塗り用) 上塗り ○既調合プラスター(上塗り用) ・しっくい塗り																																																											
8 ロックウール吹付け	ロックウールのホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・ 仕上げ吹付け厚さ(mm) ・図示 ・25 ・ 色彩 ・着色 ※原色	[15. 12. 2、3]																																																										
9 しっくい塗り	しっくい ・現場調合材料 ※標仕 15. 10. 2(1)(4)による ・既調合材料 製造所() 種類 ()	[15. 10. 2～4]																																																										
10 こまい壁塗り	下地 ※木ずり、こまい土壁塗り、せっこうラスボード、せっこうボード ・ ・モルタル塗り ・下塗りをせっこうプラスターと上塗りに塗り付ける場合 調合及び塗厚 ・木ずり下地の場合 ※標仕 表15. 10. 3 ・こまい下地の場合 ※標仕 表15. 10. 4 [15. 11. 2～5、7、8] のり ・土壁用ののり ・ふのり ※つものまた ・ぎんなんそう ・粉末海漆 ・ ・砂壁用ののり ※ふのり ・つものまた ・こんにゃくのり ・にかわ ・合成高分子系混和剤 ・ 色土 ・土物仕上げに用いる土色の種類 () ・大津仕上げに用いる土壁の種類 () 色砂の種類 ・天然砂と岩石の砕砂 ・人工的に着色・製造したもの 調合 下塗りの場合 ※標仕 表15. 11. 2 ・ 塗厚 ※標仕 表15. 11. 8による ・建築基準法に基づく耐力壁のある場合() 工程 ※A種 ・B種 ・土物仕上げ 種類 ・土物仕上げ工法 ・水ごね土物1工法 ・水ごね土物2工法 ・のりさし土物工法 ・のりごね土物工法 ・砂壁仕上げ工法 ・切返し仕上げ工法 ・大津仕上げ 種類 ・普通大津仕上げ工法 ・大津みがき仕上げ工法																																																											
⑮ 建 具 工 事 (続 き)	① 防火戸	※建具表による ・ ・適用する(※建具表による) ※適用しない	[16. 1. 3] [16. 1. 6]																																																									
	2 防犯建具部品																																																											
	③ アルミニウム製建具	性能等級 [16. 2. 1、2、4、5] [表14. 2. 1] 外部に面する建具 ・A種(建具符号 ・建具表による) ・B種(建具符号 ○建具表による) ・C種(建具符号 ・建具表による) ・D種(建具符号 ・建具表による) ・E種(建具符号 ・建具表による) 防音ドアセット、防音サッシ ・遮音性の等級(・建具表による) (建具符号： ・建具表による) 断熱ドアセット、断熱サッシ ⑤ ・断熱性の等級(・建具表による) (建具符号： ・建具表による) 枠の見込み寸法 ・建具表による ・ 表面処理の種別 外部に面する建具 ・A-1種 ・A-2種 ※B-1種 ○B-2種 ・ 皮膚等の種類(※標仕 表14. 2. 1による) 屋内の建具 ※C-1種 ○D-2種 ・ 皮膚等の種類(※標仕 表14. 2. 1による) 結露水の処理方法 ※図示 ・ 水切り板、ぜん板 ※建具表による ○図示																																																										
	④ 網戸等	<table><tr><th>種 類</th><th>材 種</th><th>線 径</th><th>網 目</th></tr><tr><td>○防虫網</td><td>○合成樹脂製 ※ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス(SUS316)製</td><td>※0. 25mm以上 ・</td><td>※16～18メッシュ ・</td></tr><tr><td>・防鳥網</td><td>・ステンレス(SUS304)線材</td><td>1. 5mm</td><td>網目寸法15mm</td></tr></table>	種 類	材 種	線 径	網 目	○防虫網	○合成樹脂製 ※ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス(SUS316)製	※0. 25mm以上 ・	※16～18メッシュ ・	・防鳥網	・ステンレス(SUS304)線材	1. 5mm	網目寸法15mm	[16. 2. 3]																																													
	種 類	材 種	線 径	網 目																																																								
	○防虫網	○合成樹脂製 ※ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス(SUS316)製	※0. 25mm以上 ・	※16～18メッシュ ・																																																								
	・防鳥網	・ステンレス(SUS304)線材	1. 5mm	網目寸法15mm																																																								
	5 樹脂製建具	性能等級 [16. 2. 2、5] [16. 3. 2～5] 外部に面する建具 ・A種(建具符号： ・建具表による) ・B種(建具符号： ・建具表による) ・C種(建具符号： ・建具表による) ・D種(建具符号 ・建具表による) ・E種(建具符号 ・建具表による) 防音ドアセット、防音サッシ ・遮音性の等級(・T-1 ・T-2) (建具符号： ・建具表による) 断熱ドアセット、断熱サッシ ⑤ ・断熱性の等級(・H-4 ・H-5 ・H-6 ・H-7 ・H-8 ・) (建具符号： ・建具表による) 外部に面する建具の日射熱取得性の等級(・) 枠の見込み寸法 ・建具表による ・ 表面色 ※標準色 ・特注色 水切り板、ぜん板 ※図示 ・	[16. 2. 2] [16. 4. 2～4] [表16. 4. 2]																																																									
	⑥ 鋼製建具	性能等級 [16. 2. 2] [16. 4. 2～4] [表16. 4. 2] 簡易気密型ドアセット ○適用する(建具符号： ○建具表による) ・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ○耐風圧性の等級(5-5) 防音ドアセット、防音サッシ ・遮音性の等級(・建具表による) (建具符号： ・建具表による) 断熱ドアセット、断熱サッシ ⑤ ・断熱性の等級(・建具表による) (建具符号： ・建具表による) 耐震性能 ・建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による 材料 ステンレス鋼板 (・SUS304、SUS304J1L又はSUS443J1 ・) ステンレス製くつずりの仕上げ ○H ・ 形状および仕上げ 鋼板類の厚さ ・標準仕様書(表16. 4. 2)による ・ 使用箇所()																																																										
	7 鋼製軽量建具	性能等級 [16. 2. 2] [16. 5. 2～4] 簡易気密型ドアセット ・適用する(建具符号： ・建具表による) ・適用しない 防音ドアセット、防音サッシ ・遮音性の等級(・建具表による) (建具符号： ・建具表による) 断熱ドアセット、断熱サッシ ⑤ ・断熱性の等級(・建具表による) (建具符号： ・建具表による) 耐震性能 ・建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による 鋼板 ※亜鉛めっき鋼板 ・ビニル被膜鋼板 ・カラー鋼板 ・ステンレス鋼板 鋼板の厚さ ・標仕 表16. 5. 1による ・ 使用箇所() 召合せ、縦小口包み板の材質 ※ステンレス鋼板 ・鋼板 形状および仕上げ 鋼板類の厚さ ・標準仕様書(表16. 5. 1)による ・ 使用箇所()																																																										
8 ステンレス製建具	性能等級 [16. 2. 2] [16. 4. 2] [16. 6. 2～5] 簡易気密型ドアセット ・適用する(建具符号： ・建具表による) ・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ・耐風圧性の等級(・) 防音ドアセット、防音サッシ ・遮音性の等級(・建具表による) (建具符号： ・建具表による) 断熱ドアセット、断熱サッシ ⑤ ・断熱性の等級(・建具表による) (建具符号： ・建具表による) 耐震性能 ・建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による ステンレス鋼板 ※SUS304 ・SUS430J1L ・SUS443J1 ・ 表面仕上げ ※HL ・鏡面仕上げ ・ ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ																																																											
⑮ 建 具 工 事 (続 き)	⑨ 木製建具	建具材の加工、組立時の含水率 ・A種 ※B種 ・ 建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・F☆☆☆☆ ・ ○フラッシュ戸 表面材の合板の種類 <table><tr><th>合板の種類</th><th>規 格 等</th><th>備 考</th></tr><tr><td>※普通合板 ⑤</td><td>表面の樹種 生地、透明塗料塗り(※7%程度 ○シナ) 不透明塗料塗り(※しな程度 ・) 板面の品質(※広葉樹1等 ・) 接着の程度 ○1類 ・2類)</td><td></td></tr><tr><td>・天然木 化粧合板 ⑤</td><td>樹種名() 接着の程度(・1類 ・2類)</td><td></td></tr><tr><td>・特殊加工 化粧合板 ⑤</td><td>化粧加工の方法 (・きり又は特殊化粧合板 ・プリント ・メライタ化粧合板) 表面性能(・)タイプ 接着の程度(・1類 ・2類)</td><td></td></tr></table> 表面板の厚さ ※標仕 表16. 7. 6による ・ ○かまち戸 かまち樹種(樹) 鋳板樹種() 見込み寸法 ※36mm ・建具表による ○ 30mm ・ふすま 張りの種別(・Ⅰ型 ・Ⅱ型) 上張り(押入等の裏側以外) ・鳥の子 ※新鳥の子又はビニル紙程度 縁仕上げ ・塗り縁 ※生地縁(素地) ・生地縁(ウレタンクリヤー塗装) 見込み寸法 ※19. 5mm ・建具表による ・ ・戸ぶすま 見込み寸法 ※30mm ・建具表による ・ ・紙張り障子 見込み寸法 ※30mm ・建具表による ・ 枠、くつずりの材料 ・建具表による ○ 枠	合板の種類	規 格 等	備 考	※普通合板 ⑤	表面の樹種 生地、透明塗料塗り(※7%程度 ○シナ) 不透明塗料塗り(※しな程度 ・) 板面の品質(※広葉樹1等 ・) 接着の程度 ○1類 ・2類)		・天然木 化粧合板 ⑤	樹種名() 接着の程度(・1類 ・2類)		・特殊加工 化粧合板 ⑤	化粧加工の方法 (・きり又は特殊化粧合板 ・プリント ・メライタ化粧合板) 表面性能(・)タイプ 接着の程度(・1類 ・2類)		[16. 7. 2～4]																																													
	合板の種類	規 格 等	備 考																																																									
	※普通合板 ⑤	表面の樹種 生地、透明塗料塗り(※7%程度 ○シナ) 不透明塗料塗り(※しな程度 ・) 板面の品質(※広葉樹1等 ・) 接着の程度 ○1類 ・2類)																																																										
	・天然木 化粧合板 ⑤	樹種名() 接着の程度(・1類 ・2類)																																																										
	・特殊加工 化粧合板 ⑤	化粧加工の方法 (・きり又は特殊化粧合板 ・プリント ・メライタ化粧合板) 表面性能(・)タイプ 接着の程度(・1類 ・2類)																																																										
	⑩ 建具用金具	○マスターキー ※製作する(※新規 ・既存にあわせる) [16. 8. 2～4] [表16. 8. 1] ※シンルダー箱錠 ※レバーハンドル 材質 ※アルミニウム合金 ○ステンレス ・黄銅 座金 ※丸座 ・長座 ・握り玉 材質 ※ステンレス ・本締まり錠 (性能) 建築材料等品質性能表による ○錠錠 ※レバーハンドル 材質 ※アルミニウム合金 ○ステンレス ・黄銅 座金 ※丸座 ・長座 ・握り玉 材質 ※ステンレス ・グレモン錠 レバーハンドルの材質 ※亜鉛合金 ・ステンレス 製造所 ※図示 ○ピボットヒンジ カバー部の材質 ※ステンレス ・亜鉛合金 ○フロアヒンジ ・Grade1 ※Grade2 カバー部の材質 ※ステンレス ・ヒンジクローザー(丁番型) 材質 ・鋼(焼付け塗装) ・ヒンジクローザー(ピボット型) 材質 ・鋼(焼付け塗装) ○ドアクローザー ・Grade1 ※Grade2 材質 ※アルミニウム合金 ・押棒、押板 材質 ・ステンレス ・黄銅 ・合成樹脂 ・アームストッパー 材質 ・鋼(クロームめっき) ※ステンレス ○クレセント 材質 ※建具製造所の仕様による ・排煙オペレーター(※埋込 ・露出)																																																										
	⑪ 鍵	○マスターキー 製作する○新規 ・既存にあわせる [16. 8. 4] 鍵の製作本数 ○各室3本一組(室名札付き) ・ 鍵箱 ・無し ○有り 鋼板の市販品として監督員の承諾による 形式 ○30本入り(1)個 ・60本入り()個 ・120本入り()個 ・()本入り()個																																																										
	12 自動ドア開閉装置	<table><tr><th>自動ドア</th><th>種類</th><th>性 能</th><th>防錆</th><th>センサーの種類</th><th>凍結防止</th></tr><tr><td>・引き戸</td><td>・SSLD-1 ※標仕 ・SSLD-2 表16. 9. 1による ・DSLD-1 ・DSLD-2</td><td>・適用する ・適用しない</td><td>・適用する ・適用しない</td><td>・マツトスイッチ ※光線(反射)スイッチ ・熱線スイッチ ・音波スイッチ ・光電スイッチ ・タッチスイッチ</td><td>・適用する ・適用しない</td></tr><tr><td>・多目的トイレ 出入口引き戸</td><td>※標仕 表16. 9. 2による</td><td></td><td></td><td>・押しボタンスイッチ ・ペダルスイッチ ・車椅子使用者用便房 スイッチ</td><td></td></tr><tr><td>・</td><td>・図示 ・</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 駆動力 ※電気式又は電動油圧式 ・() 電源 ※単相100V(過電流保護装置付) ・() 補助センサー ※安全光線スイッチ1組 ・() 各開閉装置毎に補助センサを設ける 引き戸用検出装置の種類 ・標仕 表16. 9. 4による ・建具表による ・ タッチスイッチの種類 ・無線式タッチスイッチ ・光線式タッチスイッチ 車椅子使用者用便房スイッチの種類 ・大型押しボタンスイッチ ・非接触スイッチ	自動ドア	種類	性 能	防錆	センサーの種類	凍結防止	・引き戸	・SSLD-1 ※標仕 ・SSLD-2 表16. 9. 1による ・DSLD-1 ・DSLD-2	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない	・マツトスイッチ ※光線(反射)スイッチ ・熱線スイッチ ・音波スイッチ ・光電スイッチ ・タッチスイッチ	・適用する ・適用しない	・多目的トイレ 出入口引き戸	※標仕 表16. 9. 2による			・押しボタンスイッチ ・ペダルスイッチ ・車椅子使用者用便房 スイッチ		・	・図示 ・					[16. 9. 2、3]																																	
	自動ドア	種類	性 能	防錆	センサーの種類	凍結防止																																																						
	・引き戸	・SSLD-1 ※標仕 ・SSLD-2 表16. 9. 1による ・DSLD-1 ・DSLD-2	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない	・マツトスイッチ ※光線(反射)スイッチ ・熱線スイッチ ・音波スイッチ ・光電スイッチ ・タッチスイッチ	・適用する ・適用しない																																																						
・多目的トイレ 出入口引き戸	※標仕 表16. 9. 2による			・押しボタンスイッチ ・ペダルスイッチ ・車椅子使用者用便房 スイッチ																																																								
・	・図示 ・																																																											
⑬ 自閉式上吊り引戸装置	性能 ※標仕 表16. 10. 11による ・	[16. 10. 3]																																																										

17カーテンウォール工事

①取付方法、性能等

[17.1.3][17.2.2][17.3.2]

取付方法・層間方式・柱・梁方式・方立方式・スバンドレル方式・性能

耐震性能	耐風圧性	水密性	気密性	遮音性	断熱性	耐火性能
F(EH)=1.0x自重 F(EV)=0.5x自重	2,400pa	500pa	A-4		H-3	・30分 ・1時間

耐温度差性・80℃70℃60℃

耐風圧性

適用区分による風圧力の(・1.0・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法

主要部材の耐風圧性能(ガラスを除く)

支点間距離(h)	耐風圧性能	状態
4m以下	たわみ量が土(1/150)xhかつ絶対量20mm以下であること	部材の脱落、ガラスの破損及び主要部材に有害な
4mを超える		垂みが起こらないこと。

耐震性能・建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による性能の確認及び判定方法・性能の確認及び判定方法が確認できる資料を提出し監督員の承認を受ける。

[17.2.2, 3, 5, 6]

②メタルカーテンウォール

金属材料の種類アルミウム材・鋼材・ステンレス鋼材

シーリング材の種類(目地等)種類及び寸法・図示MS-2

ガラスの取付け材料シーリング種類・SR-2SR-1

支持方法・4辺指示

断熱材種類()厚さ(mm)()施工箇所・図示

製品及び取付位置の寸法許容差※標準仕17.2.1~3による

ガラス溝の寸法、形状※製造所の仕様による

耐火処理

適用部位・図示

材料、種別・図示

3PCカーテンウォール

カーテンウォールの材料

[17.3.2~5][表17.3.1, 2]

コンクリート種類・普通コンクリート軽量コンクリート1種

品質※標準仕17.3.2(1)(4)による

鉄筋※SD295A(・D13・D10)

補強鉄線の径(mm)※3.2・4.0・5.0・6.0

配筋※図示

シーリング材の種類(目地等)種類及び寸法

先付けの材料・建具枠・ゴンドラ用ガイドレール

表面仕上材・石材(・花こう岩・大理石・セラムミックタイル

ガスケットを用いる場合のアンカー溝の寸法及び寸法許容差(mm)・h=-1~+2、W1及びW2=±1

製品及び取付位置の寸法許容差※標準仕表17.3.1, 2による

ガラスの取付け方法

ガラスの取付け材が構造用ガスケットで覆層ガラス等を使用する場合は、排水機能の設置及びガラスの封着処理の強化を行う。

18塗装工事

①材料

[18.1.3]

内部に使用する塗料は、原則水性系のものである

屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

・防火材料※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。

・次の箇所を除き防火材料とする。(箇所：)

[18.2.2~7]

種別	種別
下地面等	種別
木部	不透明塗料塗りの場合※A種・B種
	透明塗料塗りの場合※B種・A種
鉄鋼面(DP以外)	※C種・A種・B種
鉄鋼面(DPのみ)	※C種・A種・B種
亜鉛めっき鋼面	・A種・B種
モルタル面及びプラスター面	※B種・A種
コンクリート面(DP以外)、ALCパネル面及び押出成形セメント板面	・A種・B種
コンクリート面(DPのみ)、ALCパネル面及び押出成形セメント板面	・A種・B種
せっこうボード面及びその他	目地：継目処理工法※A種・B種
ボード面	目地：継目処理工法以外※B種・A種

[18.3.2, 3]

③錆止め塗料塗り

下地面等	塗料の種類	錆止め塗料の種類	錆止め塗料塗りの工程
鉄鋼面	SOP	種	見え掛り：A種、見え隠れ：B種
	DP	種及びD種	標準仕(表18.3.4)
	EP-G	種・B種	見え掛り：A種、見え隠れ：B種
亜鉛めっき鋼面	SOP	鋼製建具等・A種・B種	鋼製建具等：A種
		その他	上記以外：B種
		A種・B種	
	DP	B種	鋼製建具等：A種
			上記以外：B種
	EP-G	C種	鋼製建具等：A種
			上記以外：B種

[18.4.1~18.12.2]

④塗装

塗装	種別	塗料の種類	高日射反射率塗料の適用
①合成樹脂塗合	木部屋外	※A種・B種	
ペイント塗り(SOP)	木部屋内	※B種・A種	
	鉄鋼面	※B種・A種	・適用する
	亜鉛めっき鋼面	—	・適用する
・クリヤラッカー塗り(DL)	鉄鋼面	※B種・A種	—
・アクリル樹脂系非水分散型塗装液(NAD)	鉄鋼面	—	・適用する
①耐候性塗料塗り(DP)	鉄鋼面	—	・適用する
	亜鉛めっき鋼面	—	・適用する
	コナット面及び	・A種・B種	—
	押出成形ワット板面	・C種	—
①つやや合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP-G)	コナット面、タイル面、せっこうボード面、その他ボード面等	※B種・A種	—
	屋内の鉄鋼面	※B種・A種	—
①合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP)	鉄鋼面	※B種・A種	—
・ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)	鉄鋼面	※B種・A種	—
・オイルステイン塗り(OS)	鉄鋼面	※水性・油性	—
①木材保護塗料塗り(WP)	鉄鋼面	※B種・A種	—

高日射反射率塗料を適用する場合の適用箇所は屋上、屋根面の金属面とする。

クリアラッカー塗(CL)A種の工程2の適用

・適用する(着色剤：・溶剤系接染剤・油性染料接着剤)

・適用しない

・高日射反射率塗料塗り

工程	塗料その他	塗付量(kg/m ²)			
規格番号	規格名称	種類	等級	塗付量(kg/m ²)	
塗料塗り	JIS K 5675	屋根用高日射反射率塗料	2種	1級・2級・3級	塗料製造所の仕様による

⑤フッ素樹脂塗装

⑥積付塗装

19内装工事

①接着剤

[19.2.2]

接着剤のホルムアルデヒド放散量

※規制対象外

接着剤は可塑剤(難揮発性の可塑剤を除く)が添付されていないものとする。

施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種類

・図示

[19.2.2, 3]

種類	JIS記号	施工箇所	色柄	特殊機能	厚さ(mm)	備考
※発砲層のないもの	※FS(複層ビニル床シート)		無地・マフ・柄	・帯電防止・防汚性	※2.0	
・発砲層のあるもの			・無地・柄物	・耐熱性・耐薬品性		

工法※熱溶接工法

[19.2.2]

JIS記号	施工箇所	色柄	寸法	特殊機能	厚さ(mm)	備考
・FT(複層ビニル床シート)		※無地・柄物		・帯電防止・防汚性		
※KT(3層ビニル床シート)		※無地・柄物	・300×300・450×450・500×500	・帯電防止・防汚性	・2.0・2.5・3.0	
※FOA(置敷きビニル床シート)		・無地・柄物		※帯電防止・防汚性		
・FOB(置き敷きビニル床シート)						

置敷きビニル床シート(FOA・FOB)の接着剤は粘着剤は糊形とし、製造所の指定する製品とする

・帯電防止ビニル床シート(ハネルータイプ)

右に示す製造所の商品程度とする()

・耐熱性ビニル床シート

右に示す製造所の商品程度とする()

④ビニル幅木

[19.2.2]

材質※軟質・硬質

高さ(mm)※60・75・100

厚さ(mm)※1.5以上

[19.2.2]

色柄()

厚さ(mm)・3.0・4.5・6.0・9.0

寸法(mm)()

[19.2.2]

・タイルカーベット

[19.3.2, 3][表19.3.1, 2]

バレル形状	種別	施工箇所	寸法	総厚さ(mm)	備考
※ループバレル	※第一種・第二種		※500×500	※6.5	
・カットバレル	・第一種・第二種		※500×500	※6.5	・帯電防止及び防汚加工品
・カット・ループ併用	・第一種・第二種		※500×500	※6.5	

色柄※無地・柄物

タイルカーベットの敷き方平場※市松敷き・模様流し・階段部分※模様流し・市松敷き・見切り、押え金物・適用する(材質、形状等※図示)

※適用しない

[19.4.2, 3][表19.4.1~8]

種別	施工箇所	工法	仕上げの種類
・厚膜型塗床材			※平滑仕上げ・防汚仕上げ・つや消し仕上げ
弾性ウレタン樹脂系塗床材			※平滑仕上げ・つや消し仕上げ
※厚膜型塗床材		※薄膜流し展べ工法・厚膜流し展べ工法・樹脂展べ工法	・平滑仕上げ・防汚仕上げ
・厚膜型塗床材			

塗料のホルムアルデヒド放散量※規制対象外

[19.5.2~5][表19.5.1~5]

⑧フローリング張り

種類	工法	樹種	厚さ(mm)	大きさ	仕上塗装	間伐材等の適用
・フローリングボード1等	・釘留め工法(根太張り)	・	15	幅幅75板長400以上	・塗装品・無塗装品	・有り・なし
	・釘留め工法(直張り)	・	・12以上	幅幅75板長400以上		・有り・なし
	・接着工法	・	・8以上	幅幅75板長400以上		・有り・なし
・フローリングボード1等	・接着工法	・	15	303×303	・塗装品・無塗装品	・有り・なし

複合フローリング

種類	工法	樹種	厚さ/大きさ(mm)	種別	防湿処理	塗装仕上げ	間伐材等の適用
・天然木化粧複合フローリング	・釘留め工法(根太張り)	※なら	※なら	・A種・B種・C種	・適用する・適用しない	・塗装品・無塗装品	・有り・なし
	・釘留め工法(直張り)	※なら	※なら				
	・接着工法	・	板厚・12以上・振幅・75以上・板長さ400以上				・有り・なし

フローリング及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量※規制対象外

接着工法の場合の不陸緩和材※合成樹脂発泡シート

現場塗装仕上げ

・行う(施工箇所)

・行わない

※ウレタン樹脂ワニス塗り

・オイルステインの上、ワックス塗り

・生地そのままワックス塗り

19内装工事(続き)

9畳敷き

[19.6.2][表19.6.1]

種別・A種・B種・C種・D種(畳床：・KT-I・KT-II・KT-III・KT-K・KT-N)

下地の種類・標準仕表12.6.1による床組

・ポリスチレンフォーム床下地(ノンフロム)

畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。

衝撃緩和畳畳表(JIS A 5902)・C1・C2

防虫処理は加熱による方法及び防虫加工紙(布)による方法とし、人体に無害なものとする。

畳表は、熊本県畳表検査規定による「綿糸引通五八二等級」規定品同等以上とする。

[19.7.2, 3][表19.7.1]

種類	JIS記号	厚さ(mm)、規格等
①硬質木毛セメント板	HW	15・20※25
①普通木毛セメント板	NW	15・20※25
①けい酸カルシウム板	0.8FK1.0FK	・実付け・目通しタイプ2(無石棉)※6・8
・ロックウール化粧吸音板	DR	※実付け
		・フラットタイプ(・9(不燃)※12(不燃)・凹凸タイプ(・12(不燃)・15(不燃)・19(不燃)※300×600・455×910
・グラスウール吸音ボード32K	GW-B	※25(厚手ガラスクロス包)※300×600・455×910
①せっこうボード	GB-R	※実付け(ベベルエッジ)・継目処理※12.5(不燃)・15(不燃)※910×2730・910×1820
・不燃難燃せっこうボード	GB-NC	※実付け※9.5(不燃)・化粧無(下地張り用)・化粧有(トラバーチン模様)※450×910・910×910
・シーリングせっこうボード	GB-S	・12.5(不燃)
①強化せっこうボード	GB-F	①12.5(不燃)・15(不燃)
・化粧せっこうボード(木目)	GB-D(W)	※目通し・12.5(不燃)幅440mm程度※9.5模様(※柱目・板目)専用下地材有り
①メラミン樹脂化粧板		JIS K 6903による(※1.2)

せっこうボード等の下地は図示による

石膏ボードの目地工法等

目地工法の種類・仕上表による

実付工法及び目通し工法のエッジの種類

①ベベルエッジ

スクエアエッジ

遮音シール材※アクリル系またはウレタン系シーリング材・ジョイントコンパウンド(JIS A 6914)

合板類、MDF及びバニティクルボードのホルムアルデヒド放散量※規制対象外

合板類の張付け※B種・A種

11壁紙張り

ホルムアルデヒド放散量※規制対象外

[19.8.2, 3]

施工箇所	壁紙の種類					防火性能	商品名(程度)
	紙	織維	プラスチック	無機質	その他		
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃	
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃	
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃	
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃	

モルタル・プラスター面の素地ごしらえ※B種・A種

コンクリート・ALC面の素地ごしらえ※B種・A種

せっこうボード面の素地ごしらえ※B種・A種

〇〇〇〇〇〇MARU. architecture

有限会社マル・アーキテクチャ
一級建築士事務所
東京都知事登録第59575号

高野 洋平
一級建築士
東京都知事登録第329236号

DAI
DAI ARCHITECTURE, INC.

株式会社DAI建築DESIGN
一級建築士事務所
東京都知事登録第1-6-1号

松葉潤志夫
一級建築士
東京都知事登録第141001号

ARUP

オーブ・アラップ・アンド・パートナーズ・ジャパン・リミテッド
東京都知事登録第35571号

富岡 良太
一級建築士登録第355621号
構造設計一級建築士登録第10495号

菅 健太郎
一級建築士登録第318575号
設備設計一級建築士登録第4096号

向井 一輝
一級建築士登録第328591号
設備設計一級建築士登録第4401号

Project Title
教7-12末吉小学校校舎改築本体工事

Client
曾於市

Name of Drawing
特記仕様書

Scale
-

Architect
Drawn by SHIN IRIE
Checked by YOHEI TAKANO

Date
- - - - - A-008

22

舗装工事（続き）

② 路盤

路盤の構成及び厚さ
路盤材料の種類
・砕石
・クラッシャーラン 0-40
・粒度調整砕石
※再生材
※クラッシャーラン R0-40
・粒度調整砕石
・クラッシャーラン鉄鋼スラグ GS-40
・粒度調整鉄鋼スラグ
・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ

③ アスファルト舗装

アスファルト舗装の構成及び厚さ
材料及び種類
アスファルト
・道路用砕石
※アスファルトコンクリート再生骨材
加熱アスファルト混合物等の種類
※密粒度アスファルト混合物 (13)
・細粒度アスファルト混合物 (13)
シーリングの施工
試験
アスファルト混合物等の抽出試験
舗装の平坦性

④ コンクリート舗装

コンクリート舗装の構成及び厚さ
舗装の種類
部 位
構 成
厚さ (mm)
コンクリート舗装
車路及び駐車場
歩行者用通路
材料
コンクリート
コンクリートの種類
設計基準強度
所定のスラブ
粗骨材の最大寸法
※普通コンクリート、標仕
早強ポルトランドセメント
注入目地材料
目地
種類
間隔
構造
※標仕
溶接金網
試験
舗装の平坦性

⑤ 透水性

透水性アスファルト舗装の構成及び厚さ
材料
骨材
試験
開粒度アスファルト混合物等の抽出試験
砂の粒度試験
舗装の平坦性

⑥ ブロック系舗装

・コンクリート平板舗装
種 類
寸法 (mm)
厚さ (mm)
目地材
備 考
※普通平板 (N)
・透水平板 (P)
・保水性平板 (M)
クッション材
普通平板は
ただし、調達困難な場合は監督職員と協議を行うものとする。
仕上り面の平坦性
・インターロッキングブロック舗装
種 類
厚さ (mm)
形状寸法
曲げ強度 (N/mm²)
備 考
※普通ブロック (N)
・透水性ブロック (P)
・保水性ブロック (M)
※普通ブロック (N)
・透水性ブロック (P)
・保水性ブロック (M)
クッション材
歩行者用通路に使用するブロックは
（透水性コンクリート）とする。
ただし、調達困難な場合は監督職員と協議を行うものとする。
仕上り面の平坦性
段差は3mm以内とする

⑦ 砂利敷き

種別
・A種（施工範囲）
・B種（施工範囲）

⑧ 路面標示用塗料

JIS K 5665（路面標示用塗料）による
種 類
施 工
適 用
色
幅 (mm)
塗布厚さ (mm)
・1種
・2種
※3種1号
低揮発性有機溶剤型の路面標示用水性塗料

⑨ 車止め

車止め用既製コンクリート
全面接着アンカー併用固定

舗装及び屋上屋上屋上工事

① 植栽地の確認等

② 植栽基盤の整備

③ 植込み用土

④ 土壌改良材

⑤ 樹木

⑥ 支柱

⑦ 幹巻き用材料

⑧ 芝

9 吹付けは種

⑩ 地被類

土壌の水素イオン濃度指数 (pH) 試験
電気伝導度 (EC) の試験
植木の植栽基盤の整備
植栽
工法
有効土層の厚さ (cm)
整備範囲
土壌改良材
※樹木
※芝、地被類
但し、現状地盤より高さが上がる場合はD種とする。
植栽基盤の排水設備
※現場発生土の良質土
土地改良材の適用
種別及び指定量等
使用量
有機物の含有率 (乾物)
炭素窒素比 (C/N比)
陽イオン交換容量 (乾物)
pH
水分
幼植物試験の結果
窒素含量 (現物)
りん酸含量 (現物)
加里含量 (現物)
施工箇所の土壌及び植栽する植物の性質から使用が不適な場合、及び調達困難な場合は監督職員と協議を行うものとする。
汚泥発酵肥料 (下水汚泥コンポスト)
「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第一の基準に適合する原料を使用したもので、食害試験の調査の結果、害が認められないものとする。
使用量
有機物の含有率 (乾物)
炭素窒素比 (C/N比)
pH
水分
窒素含量 (現物)
りん酸含量 (現物)
アルカリ分 (現物)
施工箇所の土壌及び植栽する植物の性質から使用が不適な場合、及び調達困難な場合は監督職員と協議を行うものとする。
樹種、寸法、株立数等
支柱材
防蟻処理方法
形式
材料
種類
芝張りの工法
平地
法面
種子の種類
発芽率
種子の量 (g/m²)
備考
植物の種類
径
単位面積当たりの株数
芽立数

⑪ 樹木札

⑫ 樹木の枯損補償

⑬ メーカーリスト

⑭ 見本施工リスト

支柱材
幹巻き用材料
樹木札
樹木の枯損補償
メーカーリスト
見本施工リスト

その他の特記事項

支柱材
幹巻き用材料
樹木札
樹木の枯損補償
メーカーリスト
見本施工リスト

対象部位
対象製品
メーカー名
ビニル床タイル
外壁左官
掲示用クロス
ウッドデッキ
ストランドボード
RC外壁撥水塗装
湿式断熱材吹き付け
消火器box
木造部サッシ
RC造部サッシ
サッシにおける同等品の定義は「隠し框やビルトイン網戸の独自仕様を除き、同等の省エネ性能を満たすもの」とする
可動間仕切り建具 (和紙貼リ)
設備隠しアルミルーバー
C3天井エクスパンデタル
手摺
サイン
家具
外壁左官
レンガタイル
各種仕上り材カットサンプル

〇〇〇〇
〇〇〇〇
〇〇〇〇
〇〇〇〇

MARU. architecture

有限会社マル・アーキテクチャ
一級建築士事務所
東京都知事登録第59575号

高野 洋平
一級建築士事務所
東京都知事登録第329238号

DAI
DAI ARCHITECTURE, INC.

株式会社DAI建築DESIGN
一級建築士事務所
東京都知事登録第1-6-1号

ARUP

オープ・アラップ・アンド・パートナーズ・ジャパン・リミテッド
一級建築士事務所
東京都知事登録第35571号

富岡 良太
一級建築士登録第355621号
構造設計一級建築士登録
第10491号

菅 健太郎
一級建築士登録第318575号
設備設計一級建築士登録
第4096号

向井 一輝
一級建築士登録第328591号
設備設計一級建築士登録
第4431号

Project Title
教7-12末吉小学校校舎改築本体内工事

Client
曾於市

Name of Drawing
特記仕様書

Scale
-

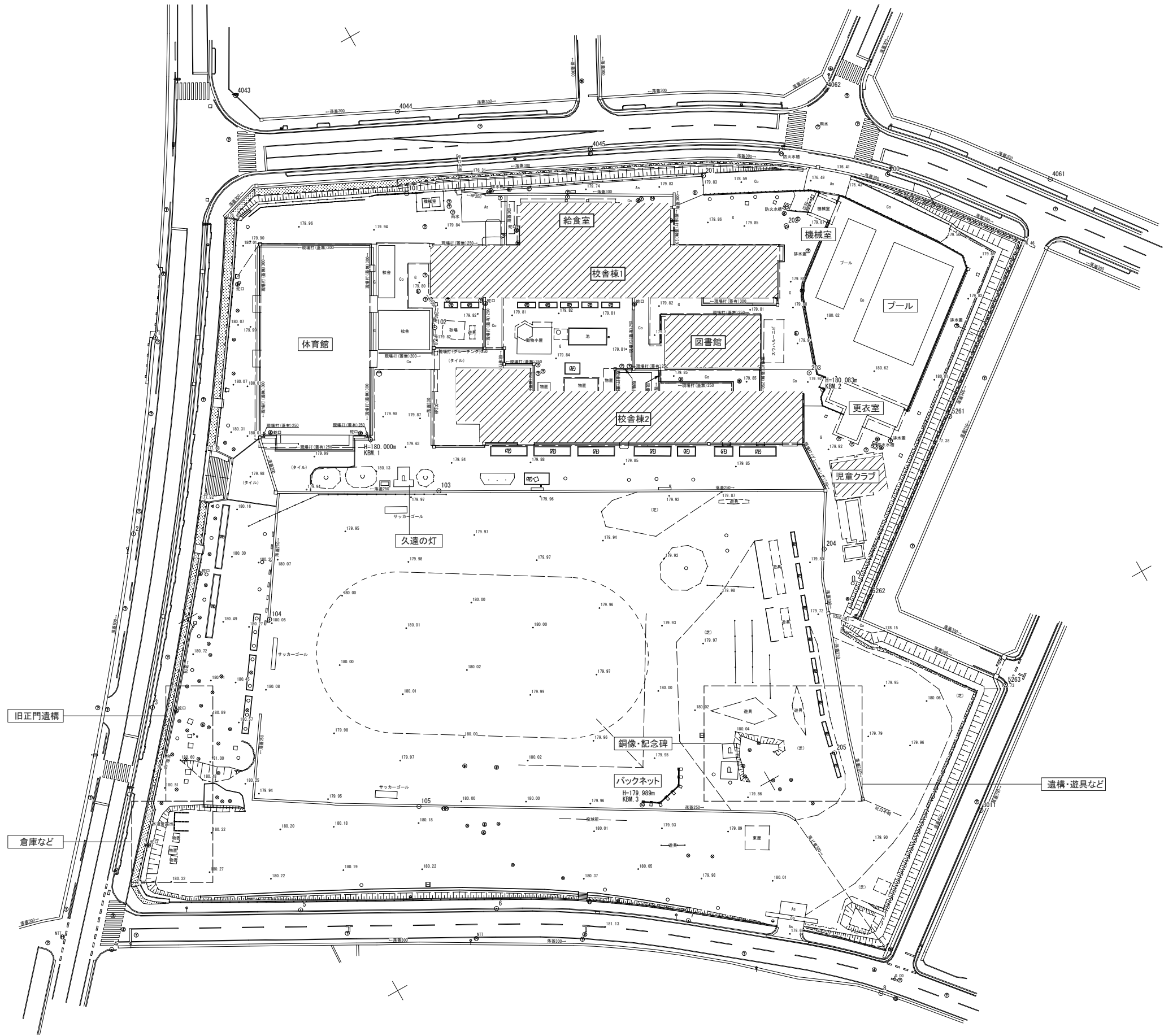
Architect
SHIN IRIE
YOHEI TAKANO

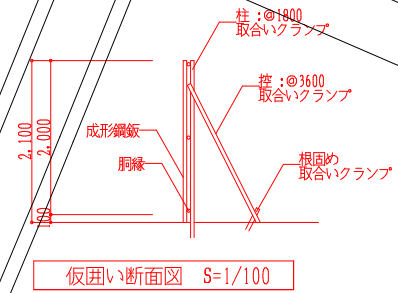
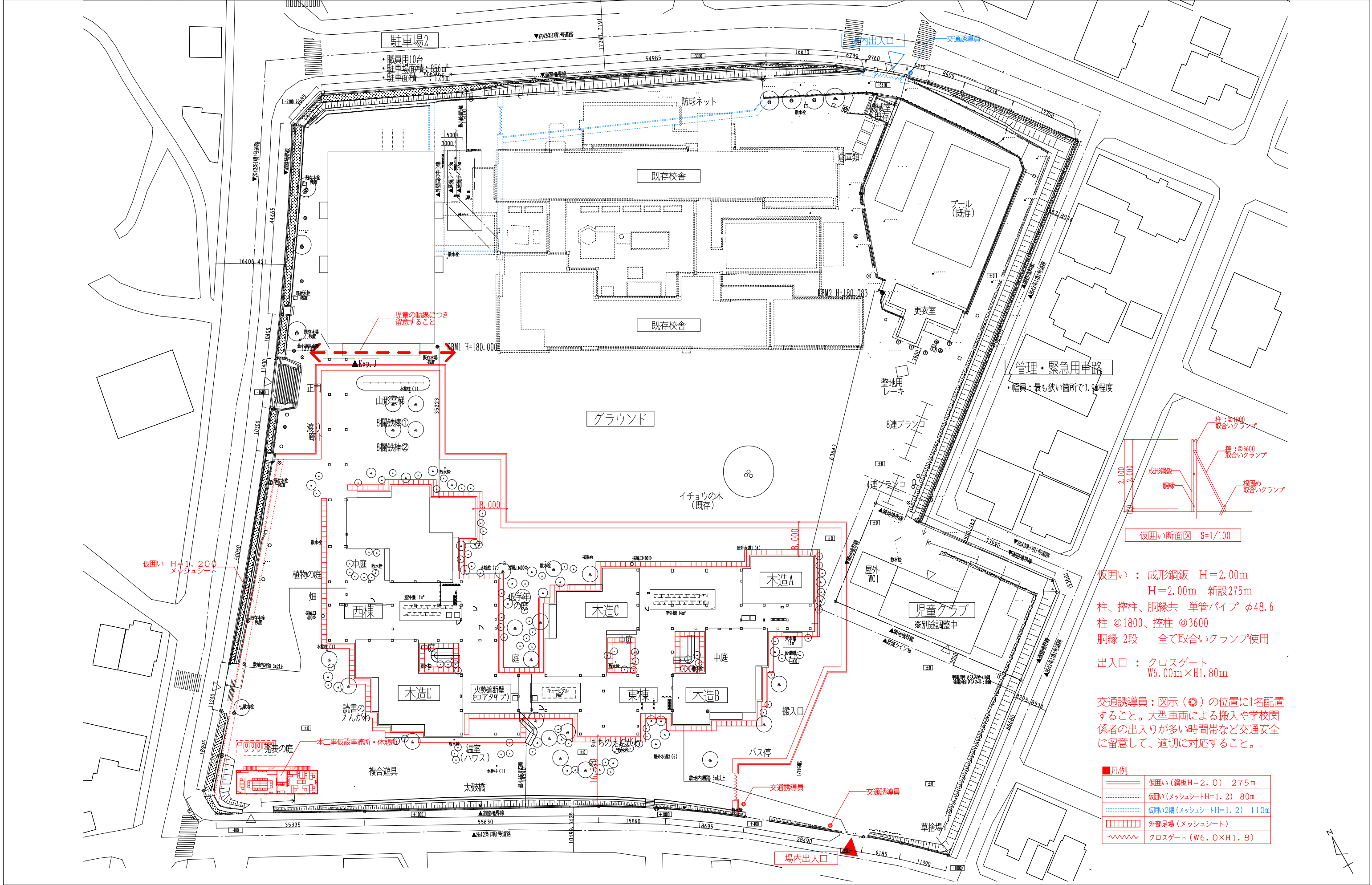
Date
A-010

※除去建築物:校舎棟1、校舎棟 2、図書館、給食室、児童クラブ

※グラウンドの外構既存物は基本撤去とする。(遊具、花壇など含む)

一部の外構既存物については、移設のため保管すること。(予定久遠の灯は内部のタイムカプセル、バックネット、記念碑・銅像の上部など)
撤去前に設計者と協議すること。

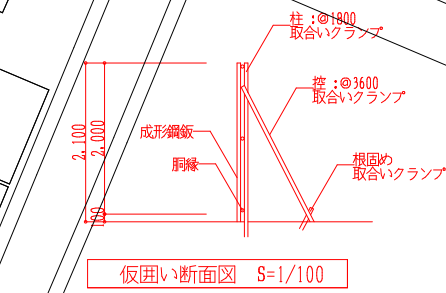




仮囲い : 成形鋼板 H=2.00m
H=2.00m 新設275m
柱、控柱、胴縁共 単管パイプ φ48.6
柱 ①800、控柱 ③600
胴縁 2段 全て取合いクランプ使用
出入口 : クロスゲート
W6.00m×H1.80m

交通誘導員 : 図示(●)の位置に1名配置すること。大型車両による搬入や学校関係者の出入りが多い時間帯など交通安全に留意して、適切に対応すること。

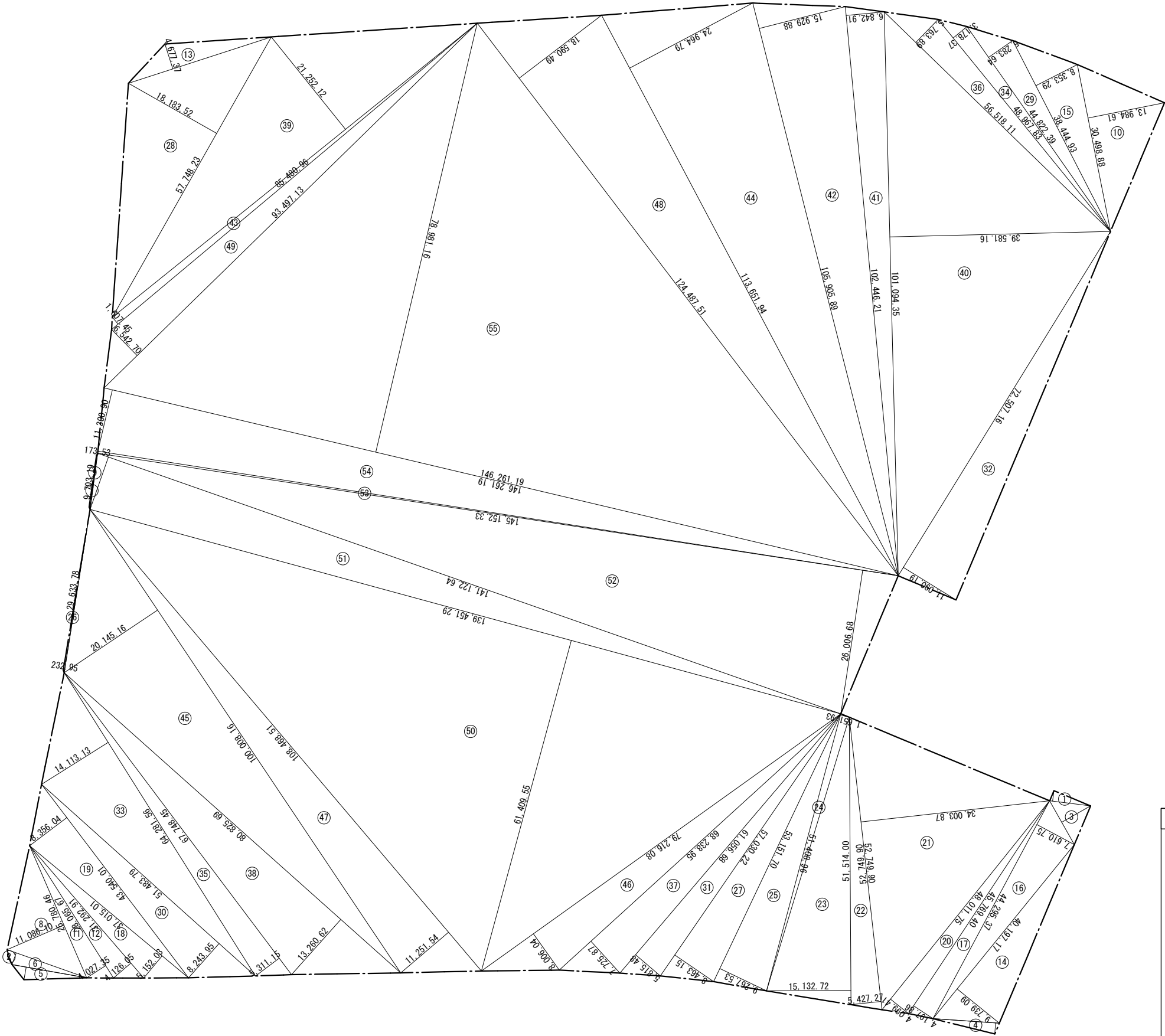
凡例	
	仮囲い(鋼板H=2.0) 275m
	仮囲い(メッシュシートH=1.2) 80m
	仮囲い2期(メッシュシートH=1.2) 110m
	外都足場(メッシュシート)
	クロスゲート(W6.0×H1.8)



仮囲い : 成形鋼板 H=2.00m
H=2.00m 新設275mm
柱、控柱、胴縁共 単管パイプ φ48.6
柱 @1800、控柱 @3600
胴縁 2段 全て取合いクランプ使用
出入口 : クロスゲート
W6.00m×H1.80m

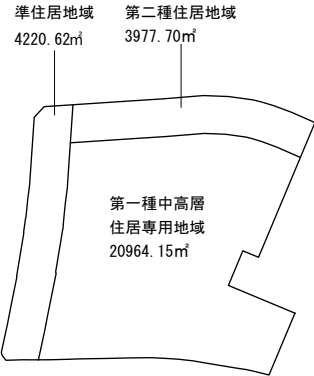
交通誘導員：図示（●）の位置に1名配置すること。大型車両による搬入や学校関係者の出入りが多い時間帯など交通安全に留意して、適切に対応すること。

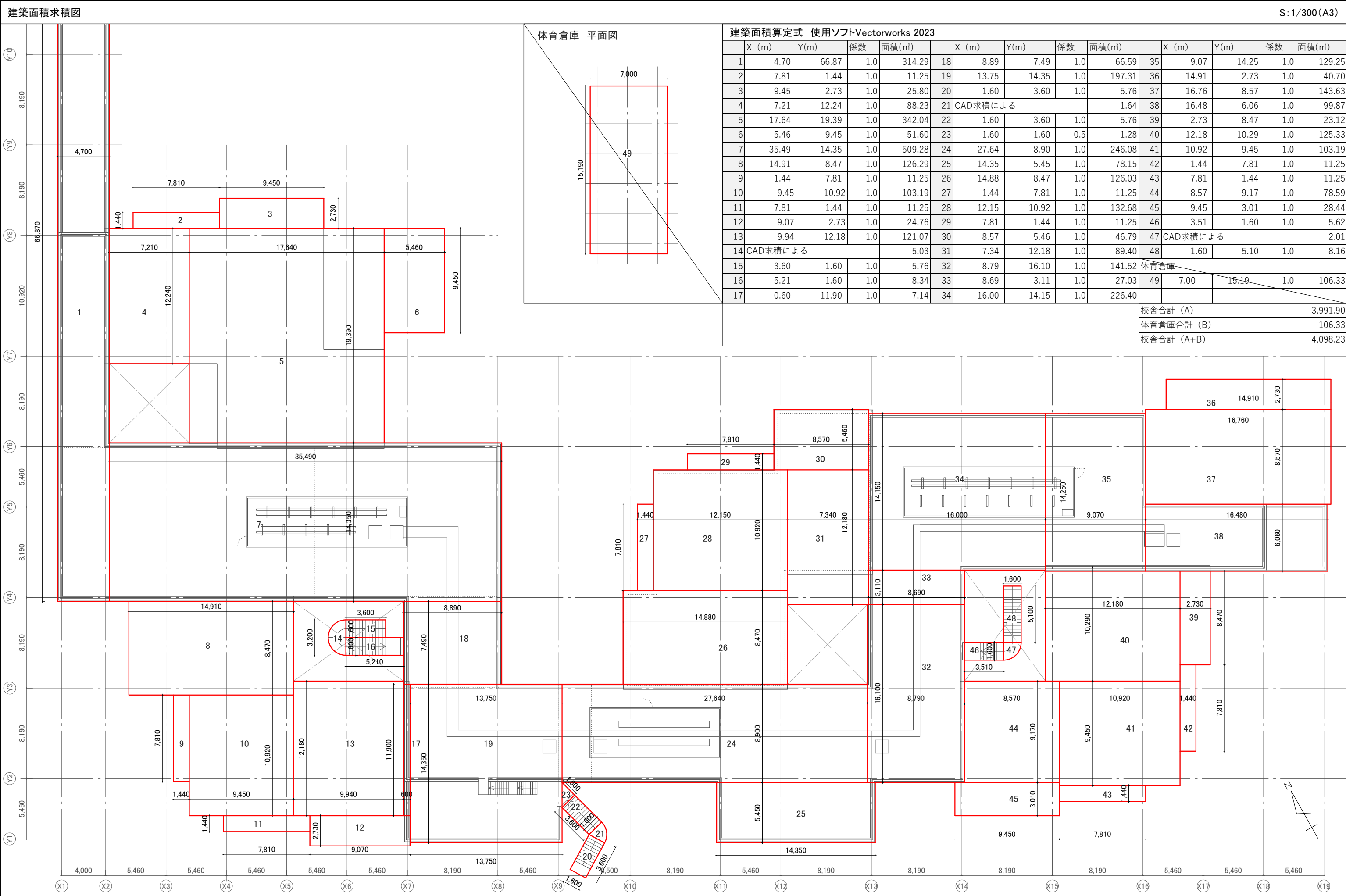
凡例	
	仮囲い(鋼板H=2.0) 275m
	仮囲い(メッシュシートH=1.2) 80m
	仮囲い2期(メッシュシートH=1.2) 110m
	外部足場(メッシュシート)
	クロスゲート(W6.0×H1.8)



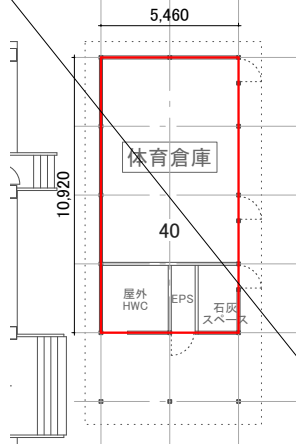
記号	計算式(mm)	面積 (㎡)
1	$7,416.57 \times 1,894.97 \div 2$	7.02
2	$2,809.63 \times 247.99 \div 2$	0.34
3	$9,011.48 \times 5,947.05 \div 2$	26.79
4	$11,914.99 \times 1,987.61 \div 2$	11.84
5	$13,577.59 \times 2,309.38 \div 2$	15.67
6	$15,123.28 \times 2,215.65 \div 2$	16.75
7	$9,703.19 \times 194.60 \div 2$	0.94
8	$25,780.46 \times 11,086.10 \div 2$	142.90
9	$10,135.30 \times 173.53 \div 2$	0.87
10	$30,498.88 \times 13,984.61 \div 2$	213.25
11	$28,065.67 \times 4,027.35 \div 2$	56.51
12	$31,292.91 \times 4,126.05 \div 2$	64.55
13	$26,925.03 \times 4,677.37 \div 2$	62.96
14	$40,197.17 \times 9,739.09 \div 2$	195.74
15	$38,444.93 \times 8,353.29 \div 2$	160.57
16	$44,295.37 \times 7,610.75 \div 2$	168.56
17	$45,769.40 \times 4,197.86 \div 2$	96.06
18	$37,015.01 \times 5,152.03 \div 2$	95.35
19	$43,540.01 \times 8,356.04 \div 2$	181.91
20	$48,011.75 \times 4,099.41 \div 2$	98.40
21	$52,749.90 \times 34,003.87 \div 2$	896.85
22	$52,749.90 \times 5,427.27 \div 2$	143.14
23	$51,514.00 \times 15,132.72 \div 2$	389.77
24	$51,408.96 \times 1,651.93 \div 2$	42.46
25	$53,151.70 \times 9,267.53 \div 2$	246.29
26	$29,633.78 \times 232.95 \div 2$	3.45
27	$57,030.22 \times 8,463.15 \div 2$	241.32
28	$57,748.23 \times 18,183.52 \div 2$	525.03
29	$44,822.39 \times 5,283.64 \div 2$	118.41
30	$51,483.79 \times 8,243.95 \div 2$	212.21
31	$61,056.68 \times 5,815.48 \div 2$	177.53
32	$72,507.16 \times 11,090.19 \div 2$	402.05
33	$64,281.56 \times 14,113.13 \div 2$	453.60
34	$48,967.83 \times 3,178.37 \div 2$	77.81
35	$67,748.45 \times 5,311.15 \div 2$	179.91
36	$56,518.11 \times 5,763.89 \div 2$	162.88
37	$68,238.95 \times 7,725.87 \div 2$	263.60
38	$80,825.69 \times 13,260.62 \div 2$	535.89
39	$83,995.67 \times 21,252.12 \div 2$	892.54
40	$101,094.35 \times 39,581.16 \div 2$	2,000.71
41	$102,446.21 \times 6,842.91 \div 2$	350.51
42	$105,905.89 \times 15,929.88 \div 2$	843.53
43	$85,480.96 \times 1,607.45 \div 2$	68.70
44	$113,651.94 \times 24,964.79 \div 2$	1,418.64
45	$100,008.16 \times 20,145.16 \div 2$	1,007.34
46	$79,216.08 \times 8,006.04 \div 2$	317.10
47	$108,468.51 \times 11,251.54 \div 2$	610.21
48	$124,487.51 \times 18,590.49 \div 2$	1,157.14
49	$93,497.13 \times 6,542.70 \div 2$	305.86
50	$139,451.29 \times 61,409.55 \div 2$	4,281.82
51	$141,122.64 \times 9,930.87 \div 2$	700.73
52	$145,152.33 \times 26,006.68 \div 2$	1,887.46
53	$145,181.38 \times 394.49 \div 2$	28.63
54	$146,261.19 \times 11,300.90 \div 2$	826.44
55	$146,261.19 \times 78,981.16 \div 2$	5,775.93
合計面積		29,162.47

用途地域別面積 S:1/5000(A3)



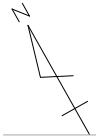
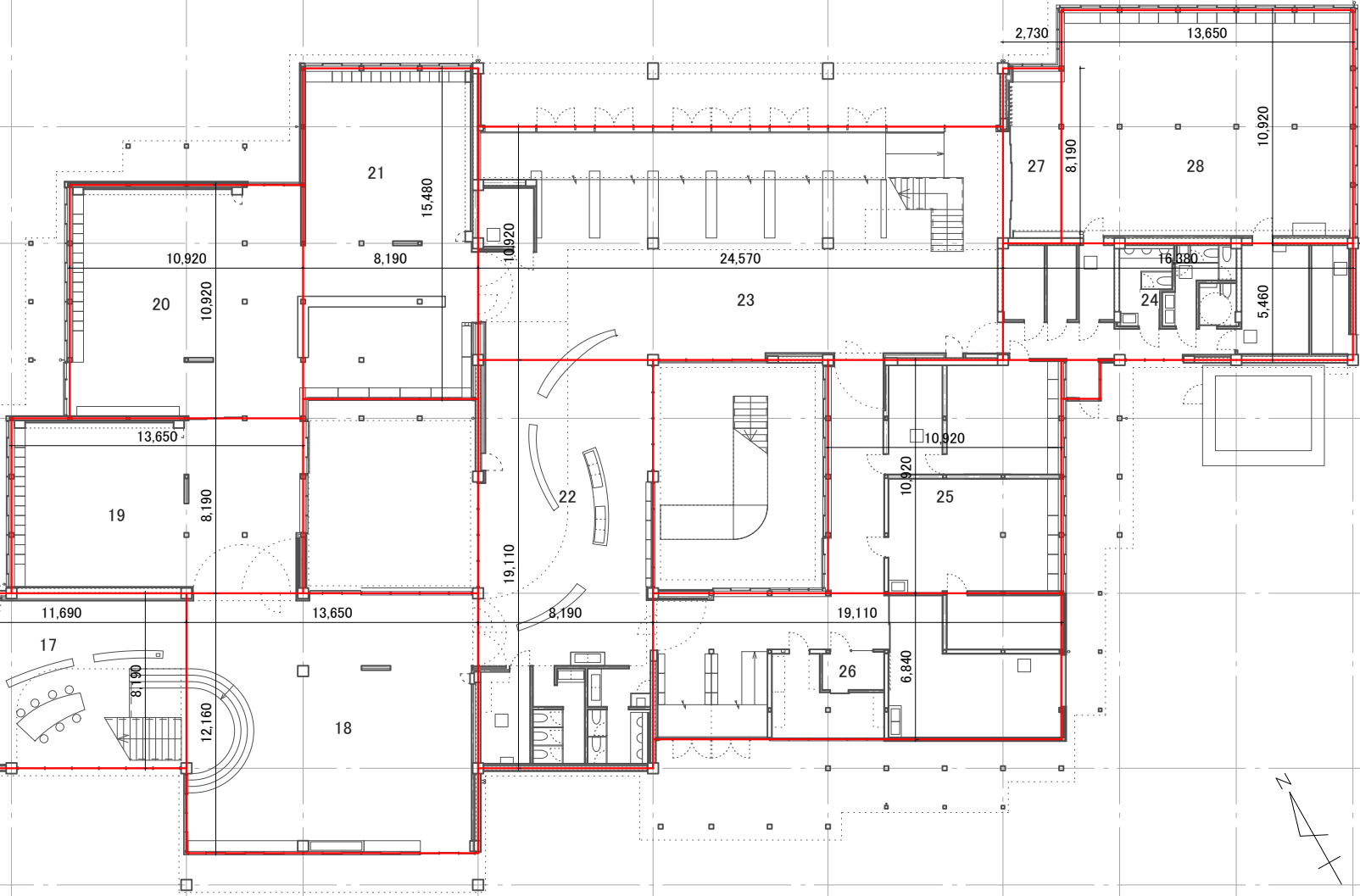
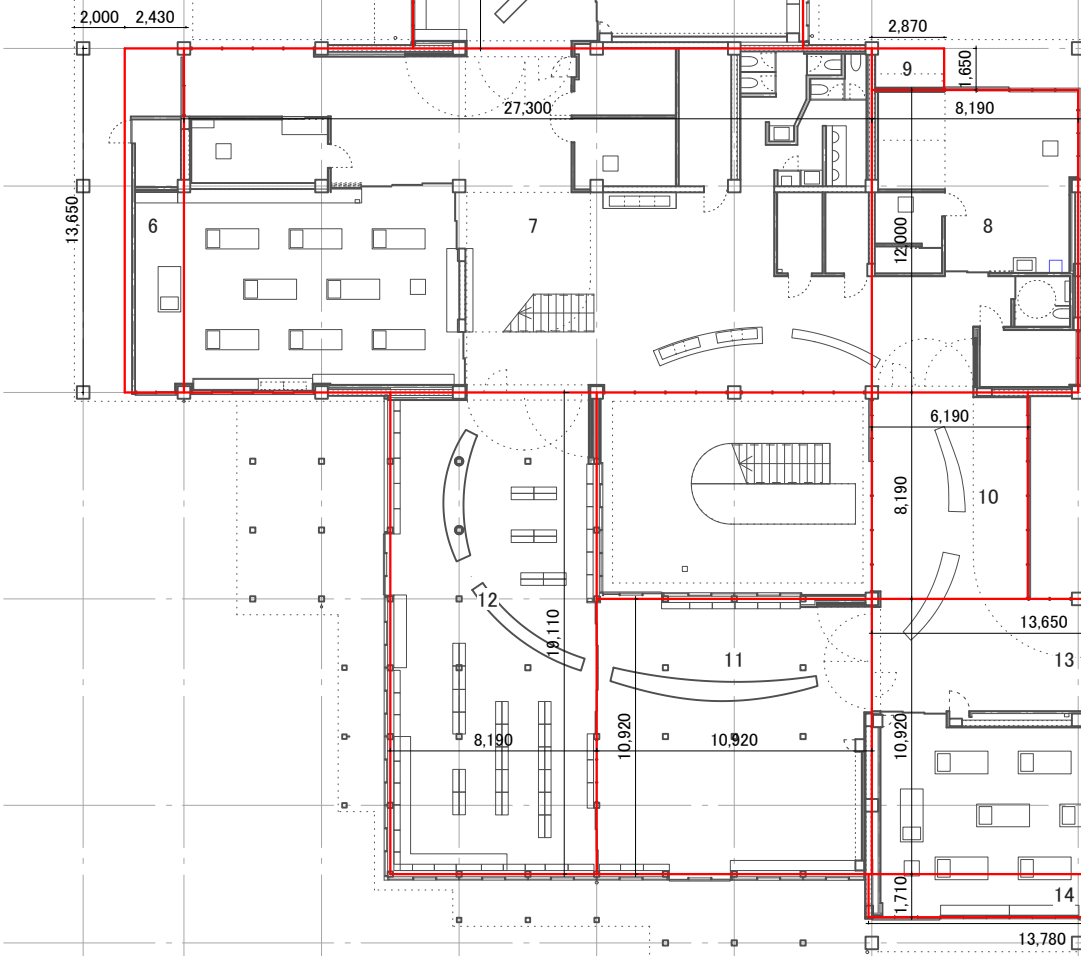
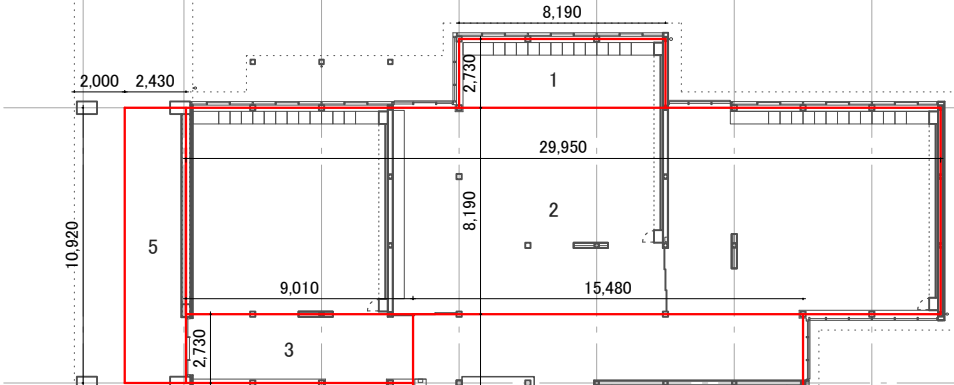


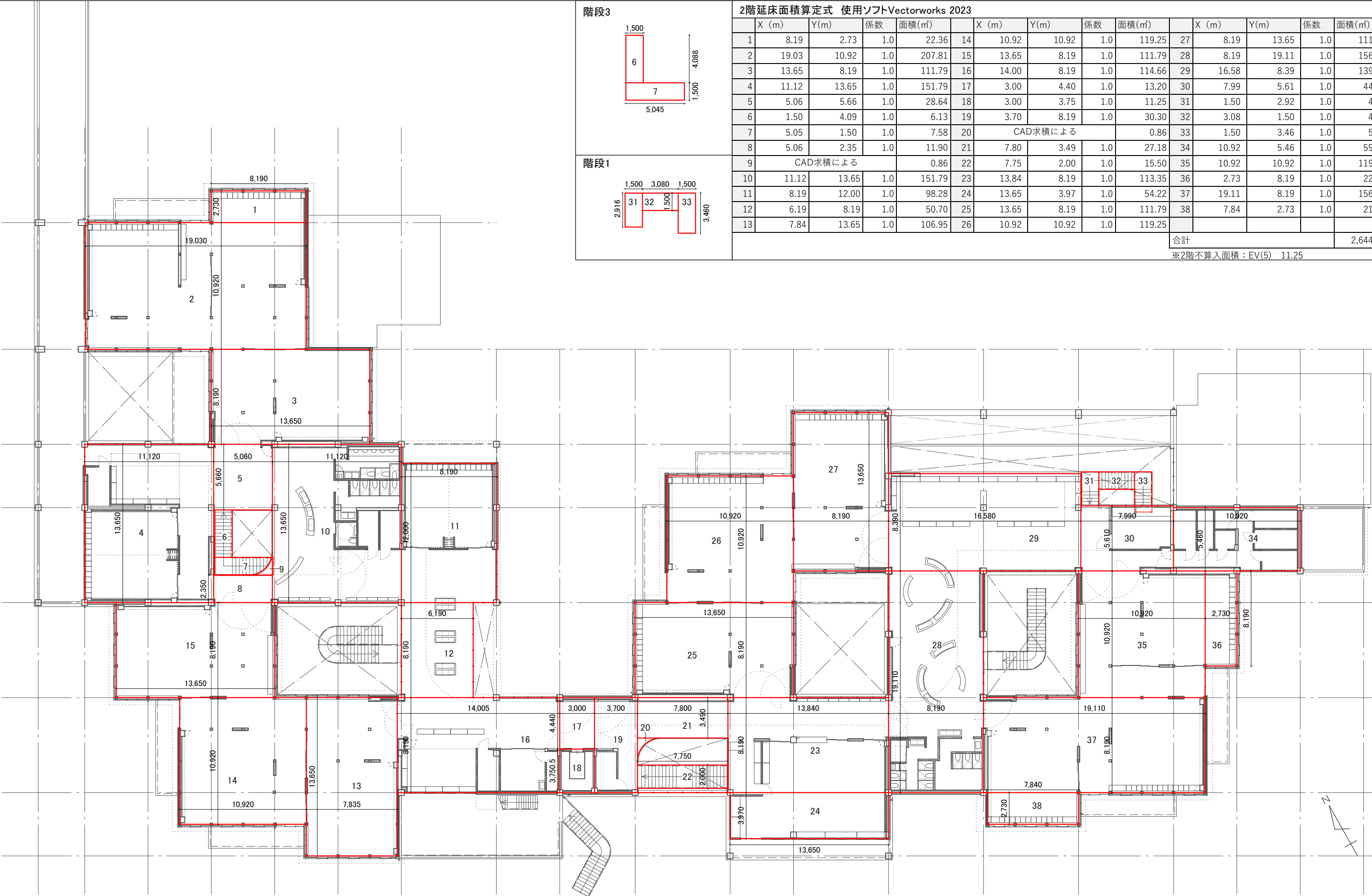
体育倉庫 平面図



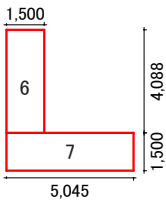
1階延床面積算定式 使用ソフトVectorworks 2023

	X (m)	Y(m)	係数	面積(㎡)		X (m)	Y(m)	係数	面積(㎡)		X (m)	Y(m)	係数	面積(㎡)
1	8.19	2.73	1.0	22.36	11	10.92	10.92	1.0	119.25	21	8.19	15.48	1.0	126.76
2	29.95	8.19	1.0	245.29	12	8.19	19.11	1.0	156.51	22	8.19	19.11	1.0	156.51
3	9.01	2.73	1.0	24.60	13	13.65	10.92	1.0	149.06	23	24.57	10.92	1.0	268.30
4	15.48	10.92	1.0	169.01	14	13.78	1.71	1.0	23.56	24	16.38	5.46	1.0	89.43
5	2.43	10.92	1.0	26.54	15	3.00	4.40	1.0	13.20	25	10.92	10.92	1.0	119.25
6	2.43	13.65	1.0	33.17	16	3.00	3.75	1.0	11.25	26	19.11	6.84	1.0	130.63
7	27.30	13.65	1.0	372.65	17	11.69	8.19	1.0	95.74	27	2.73	8.19	1.0	22.36
8	8.19	12.00	1.0	98.28	18	13.65	12.16	1.0	166.02	28	13.65	10.92	1.0	149.06
9	2.87	1.65	1.0	4.74	19	13.65	8.19	1.0	111.79					
10	6.19	8.19	1.0	50.70	20	10.92	10.92	1.0	119.25					
										合計				3,075.27
										※1階不算入面積：EV(5) 11.25				
	X (m)	Y(m)	係数	面積(㎡)										
40	5.46	10.92	1.0	59.62										
合計				59.62										

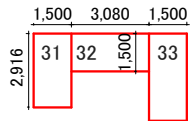




階段3



階段1



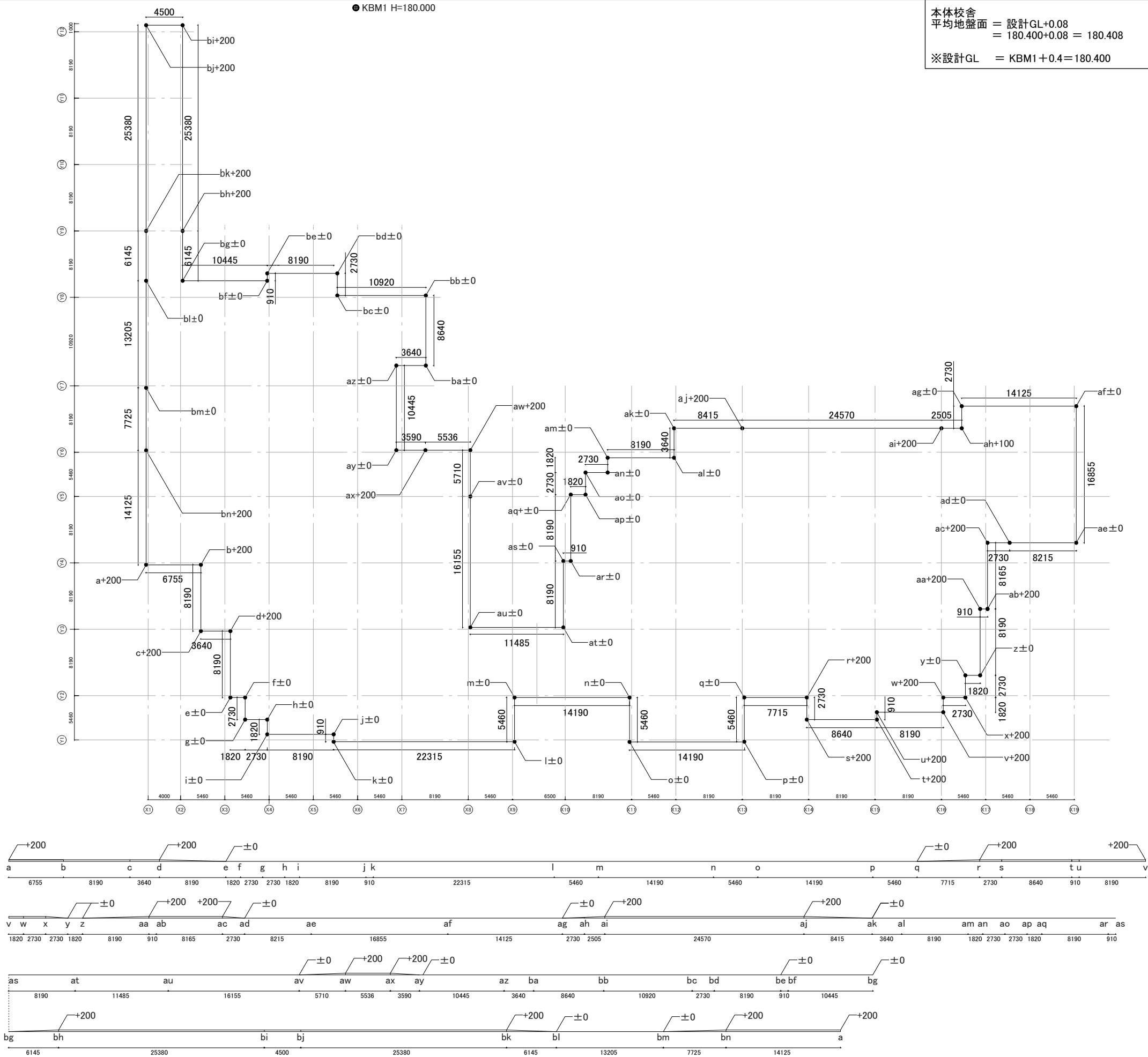
2階延床面積算定式 使用ソフトVectorworks 2023

	X (m)	Y(m)	係数	面積(㎡)		X (m)	Y(m)	係数	面積(㎡)		X (m)	Y(m)	係数	面積(㎡)
1	8.19	2.73	1.0	22.36	14	10.92	10.92	1.0	119.25	27	8.19	13.65	1.0	111.79
2	19.03	10.92	1.0	207.81	15	13.65	8.19	1.0	111.79	28	8.19	19.11	1.0	156.51
3	13.65	8.19	1.0	111.79	16	14.00	8.19	1.0	114.66	29	16.58	8.39	1.0	139.11
4	11.12	13.65	1.0	151.79	17	3.00	4.40	1.0	13.20	30	7.99	5.61	1.0	44.82
5	5.06	5.66	1.0	28.64	18	3.00	3.75	1.0	11.25	31	1.50	2.92	1.0	4.37
6	1.50	4.09	1.0	6.13	19	3.70	8.19	1.0	30.30	32	3.08	1.50	1.0	4.62
7	5.05	1.50	1.0	7.58	20	CAD求積による			0.86	33	1.50	3.46	1.0	5.19
8	5.06	2.35	1.0	11.90	21	7.80	3.49	1.0	27.18	34	10.92	5.46	1.0	59.62
9	CAD求積による			0.86	22	7.75	2.00	1.0	15.50	35	10.92	10.92	1.0	119.25
10	11.12	13.65	1.0	151.79	23	13.84	8.19	1.0	113.35	36	2.73	8.19	1.0	22.36
11	8.19	12.00	1.0	98.28	24	13.65	3.97	1.0	54.22	37	19.11	8.19	1.0	156.51
12	6.19	8.19	1.0	50.70	25	13.65	8.19	1.0	111.79	38	7.84	2.73	1.0	21.39
13	7.84	13.65	1.0	106.95	26	10.92	10.92	1.0	119.25					
										合計			2,644.72	

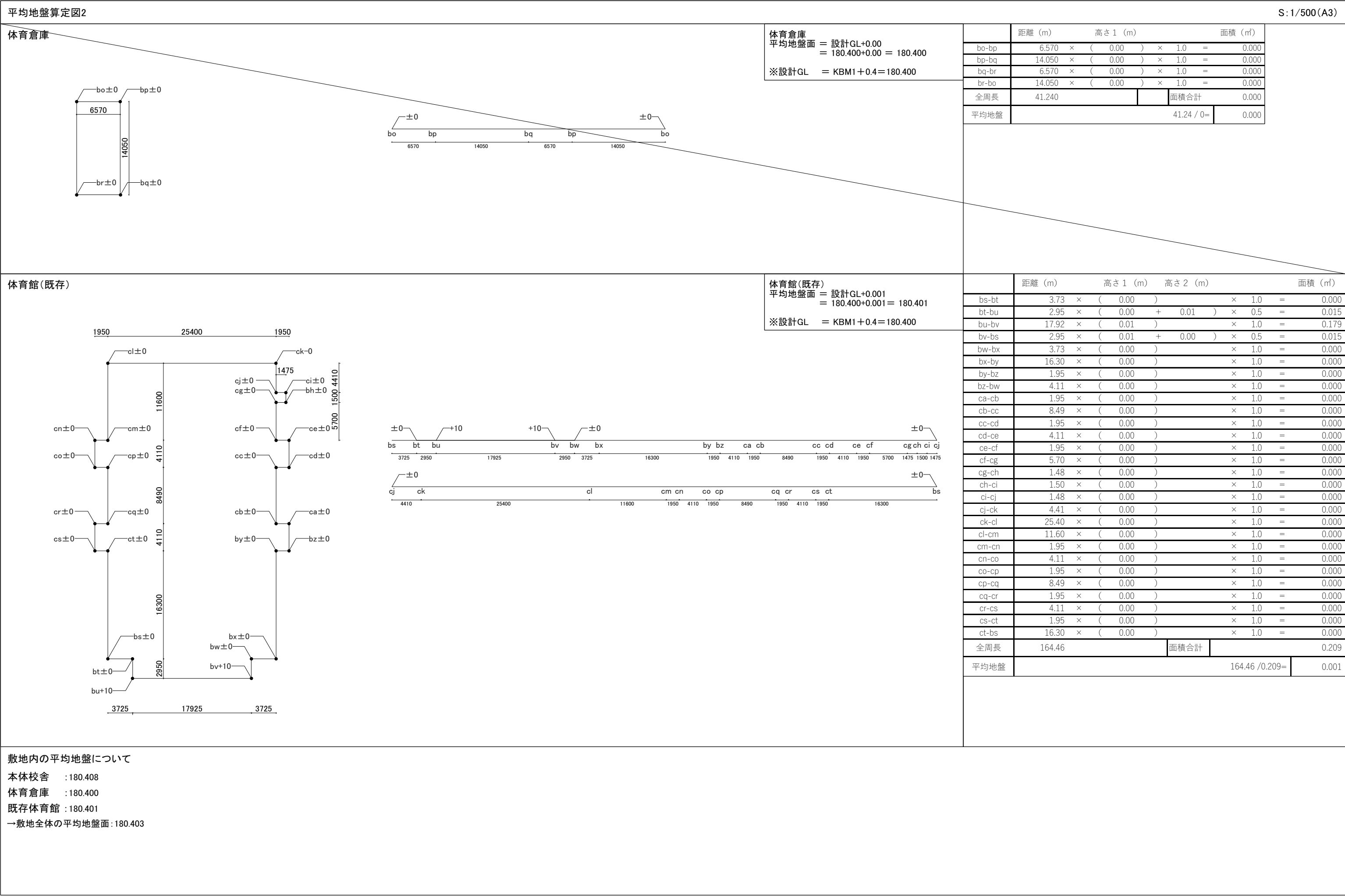
※2階不算入面積：EV(5) 11.25

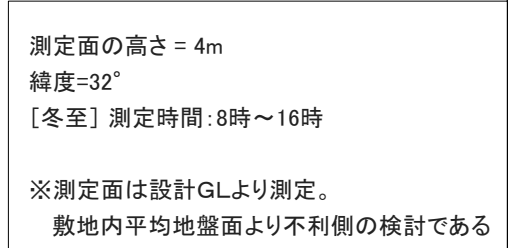
平均地盤算定図1

S:1/500(A3)

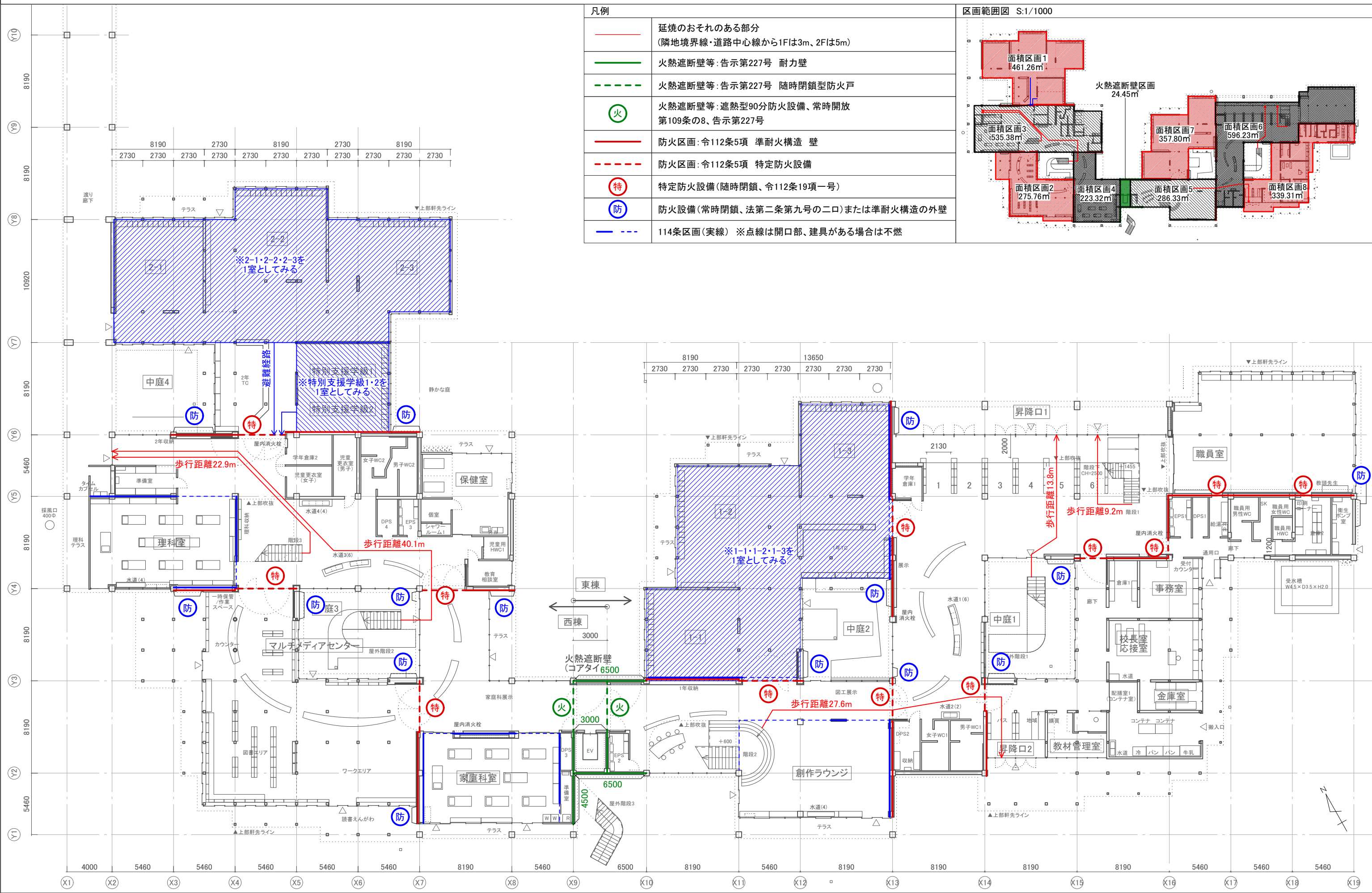


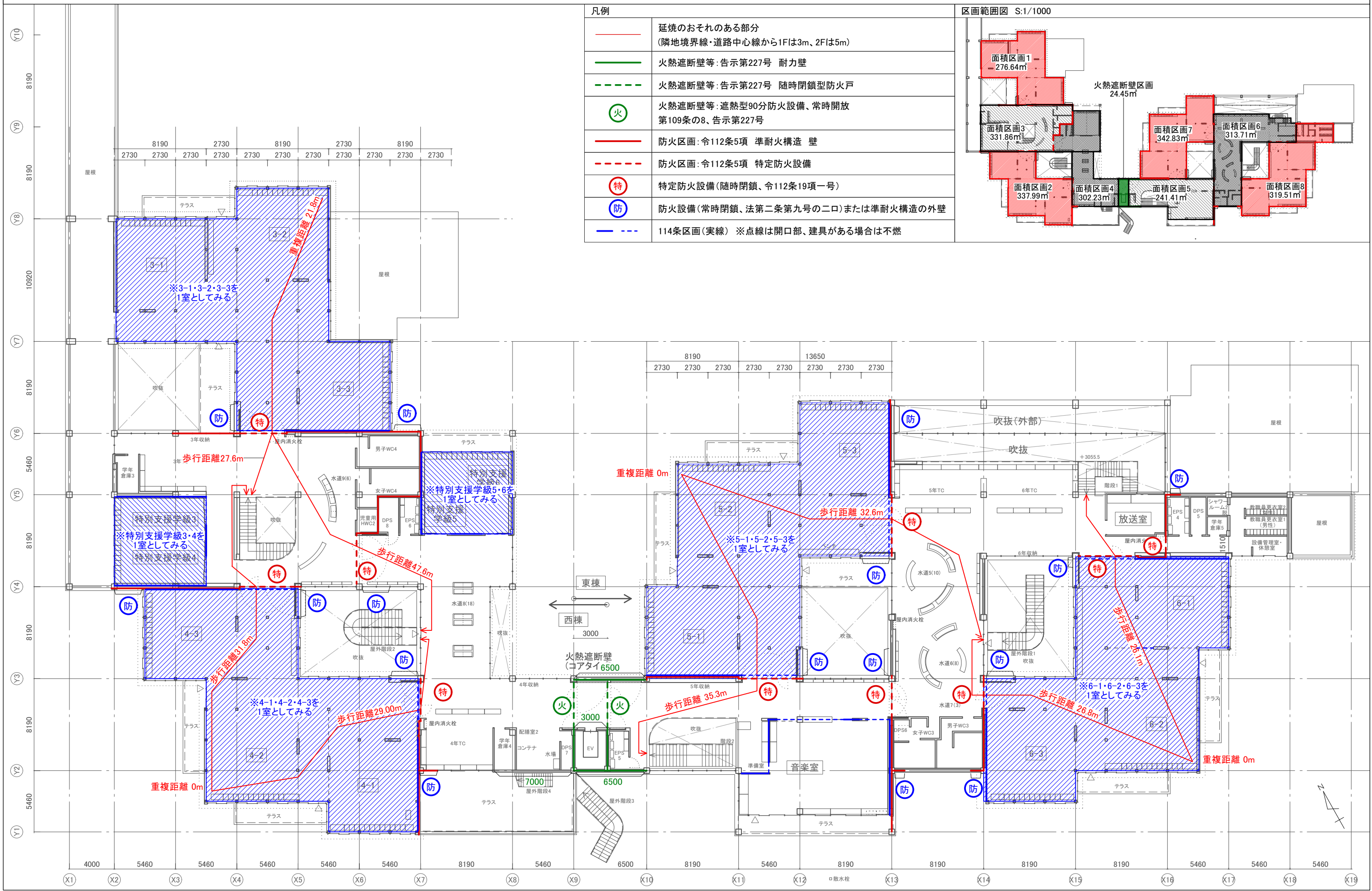
	距離 (m)	高さ1 (m)	高さ2 (m)	面積 (㎡)
a-b	6.755 × (0.20)	×	1.0	= 1.351
b-c	8.190 × (0.20)	×	1.0	= 1.638
c-d	3.640 × (0.20)	×	1.0	= 0.728
d-e	8.190 × (0.20 + 0.00)	×	0.5	= 0.819
e-f	1.820 × (0.00)	×	1.0	= 0.000
f-g	2.730 × (0.00)	×	1.0	= 0.000
g-h	2.730 × (0.00)	×	1.0	= 0.000
h-i	1.820 × (0.00)	×	1.0	= 0.000
i-j	8.190 × (0.00)	×	1.0	= 0.000
j-k	0.910 × (0.00)	×	1.0	= 0.000
k-l	22.315 × (0.00)	×	1.0	= 0.000
l-m	5.460 × (0.00)	×	1.0	= 0.000
m-n	14.190 × (0.00)	×	1.0	= 0.000
n-o	5.460 × (0.00)	×	1.0	= 0.000
o-p	14.190 × (0.00)	×	1.0	= 0.000
p-q	5.460 × (0.00)	×	1.0	= 0.000
q-r	7.715 × (0.00 + 0.20)	×	0.5	= 0.772
r-s	2.730 × (0.20)	×	1.0	= 0.546
s-t	8.640 × (0.20)	×	1.0	= 1.728
t-u	0.910 × (0.20)	×	1.0	= 0.182
u-v	8.190 × (0.20)	×	1.0	= 1.638
v-w	1.820 × (0.20)	×	1.0	= 0.364
w-x	2.730 × (0.20)	×	1.0	= 0.546
x-y	2.730 × (0.20 + 0.00)	×	0.5	= 0.273
y-z	1.820 × (0.00)	×	1.0	= 0.000
z-aa	8.190 × (0.00 + 0.20)	×	0.5	= 0.819
aa-ab	0.910 × (0.20)	×	1.0	= 0.182
ab-ac	8.165 × (0.20)	×	1.0	= 1.633
ac-ad	2.730 × (0.20 + 0.00)	×	0.5	= 0.273
ad-ae	8.215 × (0.00)	×	1.0	= 0.000
ae-af	16.855 × (0.00)	×	1.0	= 0.000
af-ag	14.125 × (0.00)	×	1.0	= 0.000
ag-ah	2.730 × (0.00 + 0.10)	×	0.5	= 0.137
ah-ai	2.505 × (0.10 + 0.20)	×	0.5	= 0.376
ai-aj	24.570 × (0.20)	×	1.0	= 4.914
aj-ak	8.415 × (0.20 + 0.00)	×	0.5	= 0.842
ak-al	3.640 × (0.00)	×	1.0	= 0.000
al-am	8.190 × (0.00)	×	1.0	= 0.000
am-an	1.820 × (0.00)	×	1.0	= 0.000
an-ao	2.730 × (0.00)	×	1.0	= 0.000
ao-ap	2.730 × (0.00)	×	1.0	= 0.000
ap-aq	1.820 × (0.00)	×	1.0	= 0.000
aq-ar	8.190 × (0.00)	×	1.0	= 0.000
ar-as	0.910 × (0.00)	×	1.0	= 0.000
as-at	8.190 × (0.00)	×	1.0	= 0.000
at-au	11.485 × (0.00)	×	1.0	= 0.000
au-av	16.155 × (0.00)	×	1.0	= 0.000
av-aw	5.710 × (0.00 + 0.20)	×	0.5	= 0.571
aw-ax	5.536 × (0.20)	×	1.0	= 1.107
ax-ay	3.590 × (0.20 + 0.00)	×	0.5	= 0.359
ay-az	10.445 × (0.00)	×	1.0	= 0.000
az-ba	3.640 × (0.00)	×	1.0	= 0.000
ba-bb	8.640 × (0.00)	×	1.0	= 0.000
bb-bc	10.920 × (0.00)	×	1.0	= 0.000
bc-bd	2.730 × (0.00)	×	1.0	= 0.000
bd-be	8.190 × (0.00)	×	1.0	= 0.000
be-bf	0.910 × (0.00)	×	1.0	= 0.000
bf-bg	10.445 × (0.00)	×	1.0	= 0.000
bg-bh	6.145 × (0.00 + 0.20)	×	0.5	= 0.615
bh-bi	25.380 × (0.20)	×	1.0	= 5.076
bi-bj	4.500 × (0.20)	×	1.0	= 0.900
bj-bk	25.380 × (0.20)	×	1.0	= 5.076
bk-bl	6.145 × (0.20 + 0.00)	×	0.5	= 0.615
bl-bm	13.205 × (0.00)	×	1.0	= 0.000
bm-bn	7.725 × (0.00 + 0.20)	×	0.5	= 0.773
bn-a	14.125 × (0.20)	×	1.0	= 2.825
全周長	485.966	面積合計		37.675
平均地盤		485.966 / 37.675=		0.078



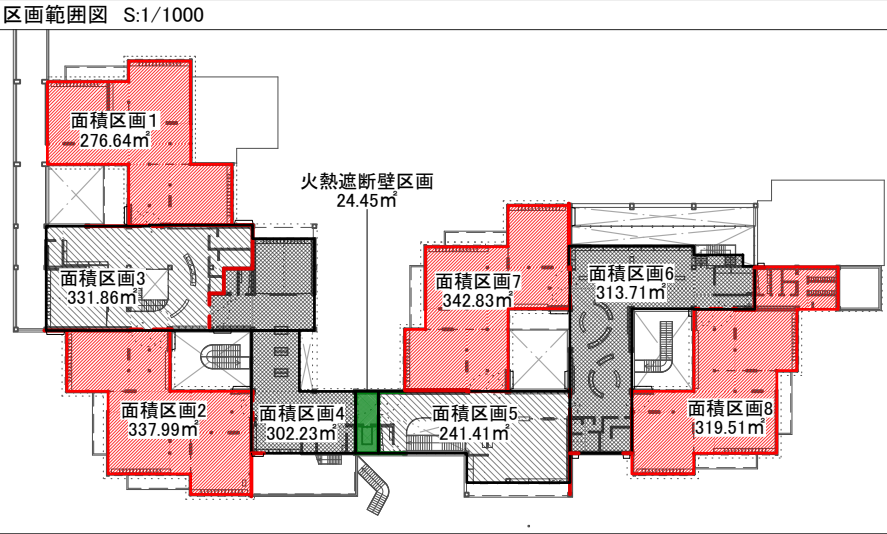








凡例	
	延焼のおそれのある部分 (隣地境界線・道路中心線から1Fは3m、2Fは5m)
	火熱遮断壁等:告示第227号 耐力壁
	火熱遮断壁等:告示第227号 随時閉鎖型防火戸
	火熱遮断壁等:遮熱型90分防火設備、常時開放 第109条の8、告示第227号
	防火区画:令112条5項 準耐火構造 壁
	防火区画:令112条5項 特定防火設備
	特定防火設備(随時閉鎖、令112条19項一号)
	防火設備(常時閉鎖、法第二条第九号の二口)または準耐火構造の外壁
	114条区画(実線) ※点線は開口部、建具がある場合は不燃



一般共通事項							
項目○印のもの適用とする							
地 下	○(1)配管ビット、トレンチ等は床：RC直直し、壁・天井：RC(打放しB種)とする。 ○(2)地階スラブと壁のコンクリート打継ぎ箇所には止水版(水膨張ゴム)を打ち込む。 ・(3)地下の防水二重壁のコンクリート面は浸透性塗布防水(下部排水溝・柱型・梁型共)とし、排水管は湧水槽まで φ50硬質塩ビ管を打ち込む。(1区画2ヶ所ずつ) 又、二重壁面には、排水管設置箇所ごとに点検口を設ける。 ○(4)湧水ビットは、壁・天井ともコンクリート打ち放しC種とし、消火水櫃、EVビット、雨水貯留槽、雑排水槽はB種とする。 ○(5)地中梁の点検口(人孔)はφ600、通気管φ50、連通管φ100半割とし、点検口は特殊防水紙チューブ、その他硬質塩ビ管とする。 ○(6)床は特記なき限りコンクリート金ゴテ押工とする。	内 外 装	○(1)特記無き雨水排水用の堅樋はバンドレスタイプとすること。 ・(2)堅樋開放落とし口には、樋受石(PC既製品)を設置する。 ○(3)露出している鉄部は、特記なき限りVDP(1級)とする。 ○(4)屋上防水部分には、オーバーフロー管SUSφ20を必ず設ける。※設置位置は図示 ・(5)軒天金属パネル及び金属パネル笠木には全て排水ルートとφ6水抜きを設ける。 ○(6)特記無き外部のモルタル塗りには防水モルタルを使用する。 ○(7)天井下地は特記なき限り、軽量鉄骨製とし、ロックウール工業会準拠の耐震グレードを水平入力加速度1Gに考慮した 吊ボルト振止め補強を行う。 ○(8)廻り縁は特記なき限り、塩ビ製、天井見切型とし、天井見切縁はアルミ製ジョイナーを使用する。 ○(9)室内仕上(壁紙及び塗装仕上)下地については、特記なき限り下記による。 ○ A.床下地の略号RCはコンクリート直直し仕上を表す。 ・ B.壁下地のコンクリート打放しとは、B種打放しを示し、樹脂モルタルt=5薄塗り等にて補修とする。 ・ C.硬質ウレタンフォーム吹付部分の面については、GB-R t=12.5 GL工法とする。 吹付部分にGL工法を施す場合は、プライマー塗布を施す。 ○(10)照明ボックスには、防虫網付熱抜き穴を適宜設ける。 ○(11)造作家具の扉が壁面等と取り合う箇所には、戸当り(衝撃防止ゴム)を設ける。 ○(12)特記なき限り、NC貼仕上は溶接工法とする。 ○(13)仕上の異なるものどうしが取合う壁の部分は、見切り(StFB t3mm 焼付塗装)を設ける。 ○(14)防火区画を形成する防火戸(廊下部分のみ)及びシャッターは上階スラブよりRC垂れ壁、LGS耐火壁を設けて区画する。(設備配管用に適宜開口補強を行う) ○(15)フリーアクセス内部は、特記なき限りスラブ面へ防塵塗装を施す。 ○(16)PS、EPS等の床には、特記なき限り 防塵塗装を施す。 ○(17)特記無き堅樋は、屋外はAL製とし、屋内は耐火二層管とする。 ・(18)室内グラスウールはt=25 見切縁は塩ビ製アングルL=25×25とする。 ・(19)鋼製床組は下地合板t=12 2枚貼とする。 ・(20)SUS巾木は特記なき限りt=1.5とする。 ○(21)壁面下地がRCとLGS等で下地剛性が異なるものが取合う箇所は、仕上見切りとして5mm以上の目地を設ける。 ○(22)床仕上材の異なる部分の見切りには、特記なき限りSUSフラットバー 15×3HLとする。 ・(23)5m以上の壁面には、見切り(FB)を設ける。 ・(24)地階区画部に用いるスリット充填材及び免震目地は、耐火性能確認試験を行ったものとする	断 熱	○(1)保護断熱防水を施す屋根を除き、屋根スラブには PF(3種) t=55を打ち込む。 ○(2)ビットに接する床スラブの下面 及び 床スラブの下部が外部に面する部分はPF(3種)t=55を打ち込む。 ○(3)外気に接する壁の内側には押し出し成型ポリスチレンフォーム t=55を張る。(PS、EPS、DS、EVシャフト共) ○(4)直接土に接する床版の下面には t=0.15 ポリエチレンフィルムシート(重ね巾250mm以上)敷き込みの上、t=35PF板(3種)を敷き込む。(ただし、耐圧盤ビット底盤の下面は除く) ・(5)硬質ウレタンフォーム吹付部分にGL工法を施す場合は、プライマー塗布を施す。 ○(6)外部に接するスラブのインサート、天井吊ボルト当ての部分はウレタン発泡材を吹き付ける。また上部インサート、天井吊ボルトは全て結露防止型とする。 ○(7)外部に面するサッシ廻りは、現場発泡ウレタン断熱材t20を充填する。 ・(8)外部に面する金属パネルは、全てグライト(断熱・防音)t5を施す。	そ の 他	○(1)外装(ACW、ルーバー等)については、予想される風圧力、変形、外気温の変化などによる変形及び摩擦音等の発生が構造耐力上、容易に起こらないように検討し、監督職員と協議の上指示に従うこと。 ○(2)外部に面するガラリは、防鳥ネット付きとし、ダクト受けアングル付きとする。 ○(3)外装窓廻りの取り合い(サッシュ・ガラス・シール)及び他材料等の取り合い形状などについては、特記仕様書 第1章「23.技術検討委員会」の記載に従って検討すること。 ○(4)EPS及点検口付のPS・DSを構成する壁(四方)はスラブまで立ち上げるものとする。 ○(5)天井チャンバー内、床下チャンバー内については、RC部防塵塗装の上、吸音材(GWT=25 24kg/m ³)を設ける。 ○(6)室内に使用する建材は、F☆☆☆☆又は同等の大臣認定品とする。 ○(7)教室の間仕切り壁は小屋裏まで到達すること。
軀 体 (仕上)	○(1)RC打放し仕上げ面は、特記なき限り(外部t=20)の打ち増しとする。 ○(2)RC打放し仕上げ面(内外部とも)の出隅部は、図面の表記に関わらず、 (ピン角仕上げ○糸面取り仕上げ)とする。(ボード下地、コーナガードの表示のある部分を除く) ○(3)RC打放し仕上げ面(内外部とも)の施工図は、型枠・セパレーター・誘発目地・設備機器類等の割付を記入し、監督職員の承諾を受けるものとする。 ・(4)床スラブは、コテ仕上げの場合は特記なき限りt=15増打ちとする。 (5)コンクリート打放し(化粧打放し)の施工に関する特記事項は下記とする。 ○ A 型枠(t=12)は、両面(小口共)ウレタン4回塗りを使用し、押さえ用単管は角型を使用する事。 ○ B.打放し面の出・入隅部の止水対策として、スポンジテープ押さえ等を考慮する事。 さらに、入隅部は型枠を45°カットし、型枠小口面が仕上げに現れない配慮をする事。 ○ C.壁面のコンクリート打設は、縦目地@10m程度毎にラス金網で仕切りを設ける。 又、打継部の位置及び打設量は監督職員との協議の上決定する。 ○ D.施工後、充分な意匠上の結果が得られない(ジャンカ・コールドジョイント等)時は、専用工法(吉田工法・パーフェクトウェット程度)にて補修するものとする。 ・ E.杉板型枠打放し部は、浮造本実杉板型枠 t15 W120 を使用すること。 ○(6)コンクリート(直仕上)とは、A種打放し仕上を示す(ただし、地下駐車場を除く)。コンクリート打放し面は、既製目地材にて亀裂誘発目地を設け、縦目地はおよそ@3m以内及び建具きわ、横目地は階高ごととする。 ・(7)RC打ち放し仕上げ面のセパレーターは17φ(例：ミニコン/山内産業)程度とする。			下 地	○(1)カーテンウォールの耐火ボードは、熱抜き孔を適宜設ける。 ○(2)床組下地、壁紙下地の木材には、防腐処理を施す。 ○(3)乾式の壁下地は、特記なき限りLGSとする。 ○(4)床下地は、特記なき限りコンクリートコテ押えとする。 ○(5)天井下地は特記なき限りLGSとする。(天井懐が1500mm以上の場合、標仕の規定による。) ・(6)フリーアクセスフロアのパネルは、全体の60%以上をコンセント取り出し穴加工済みとする。(蓋付き) ・(7)特記なき壁の仕上下地はLGS+GB-Rt=9.5+12.5とする。 ・(8)ゾノライト系ケイ酸カルシウム板耐火被覆材の取付下地はLGSとする。 ・(9)石膏ボード面等へ取付くタラップの下地補強は、PL-2.3を設する。 ・(10)水廻り防火区画壁は耐水石膏ボードt=9.5 1枚増し張りとする。 ただし、一般間仕切り壁は表層下地材置換とする。		
				点 検	○(1)天井点検口は、特記なき限りアルミ既製品(目地タイプ)(450×450)とし、表面仕上げ材は天井と同様とする。裏面には使用目的を記入する。 ○(2)化粧床点検口は、特記なき限りSUS製規格品(600×600)とし、表面仕上げ材は床と同様とする。蓋下部にはタラップを設ける。 ○(3)床点検口は、特記なき限り鋳鉄製防水防臭型マンホール(水槽名鑄出文字記入、施錠装置付)とし、蓋下部にはタラップを設ける。 ○(4)壁点検口は、特記なき限りアルミ既製品(目地タイプ)(450×450)とし、表面仕上げ材は壁と同様とする。裏面には使用目的を記入する。		

略記号・防火材料認定番号リスト										耐火・遮音認定番号リスト					
	略記号	表示事項	防火材料認定番号		略記号	表示事項	防火材料認定番号		略記号	表示事項	防火材料認定番号	使用材料		認定番号	使用部位
床・壁・天井	RC()	コンクリート()内は打放し種別A・B・C		壁・天井	GB-NC	不燃積層せっこうボード(化粧なし・下地張り用)	NM-0441,NM-0296,NM-8613	塗料	SOP	合成樹脂調合ペイント塗り		GB-Ft12.5+t12.5(両面貼り)	1時間準耐火		壁
	M	モルタル			GB-NC(T)	化粧不燃積層せっこうボード(トラバーチン模様)	NM-0441		EP	合成樹脂エマルジョンペイント塗り		GB-Ft15+t15(両面貼り)	1時間準耐火		壁
	CB	コンクリートブロック積み			GB-D	化粧せっこうボード	NM-8614,QM-9824		EP-T	合成樹脂エマルジョンペイント模様塗料塗り		ロックウール24kg/㎡t50+GB-Rt21+9.5	遮音認定		壁
	ALC	軽量気泡コンクリートパネル			GB-D(W)	化粧せっこうボード(木目)	NM-0127		EP-G	つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り	NM-8585 不燃材料	構造用合板t24+GB-Rt12.5	1時間準耐火	告示195号	床
	ECP	押出成形セメント板	FP060NE-9035		GB-S	シージングせっこうボード	t=9.5,12.5 QM-9826		AE	アクリル樹脂エナメル塗り		岩綿吸音板t9+GB-Ft12.5			天井
	LGS	軽量鉄骨					t=12.5 NM-9639		FE	フタル酸樹脂エナメル塗り					
	St	鉄骨			GB-F	強化せっこうボード	NM-8615		2-FUE	常温乾燥形ポリウレタンエナメル塗り					
	W	木(木製)			GB-P	吸音用あなきせっこうボード(スクエアトーン・D)	QM-9827		2-UE	2液形ポリウレタンエナメル塗り					
S-UL	軽量鉄骨下地 薄壁二重工法		GB-L	せっこうラスボード	NM-8617	2-ASE	アクリルシリコン樹脂エナメル塗り								
			FG-B	繊維混入せっこう板	NM-2967	CL	クリヤラッカー塗り								
床	SL	セルフレベリング			有孔FG-B	繊維混入せっこう板(有孔)	NM-8576,NM-8578,NM-2907	防水	UC	ウレタン樹脂ワニス塗り					
	FF	フリーアクセスフロアー		FK	繊維混入けい酸カルシウム板	NM-2773,NM-8578	OS		オイルステイン塗り						
	NC	ビニル床シート		FK-FJ	抗菌メラミン化粧板	NM-2183	AC		アクリル樹脂ワニス塗り(アクリル樹脂クリヤー塗り)						
	VT	ビニル床タイル(半硬質)		FK-D	化粧繊維混入けい酸カルシウム板	NM-8579	NAD		アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り						
	VTs	ビニル床タイル(軟質)		FK-DK	抗菌性化粧無石綿セメントけい酸カルシウム板		XE		2液型エポキシエナメル塗り						
	VT(E)	帯電防止ビニル床タイル		FK-DW	天然木縁付化粧無石綿セメントけい酸カルシウム板		PU		ポリウレタン塗り						
	HT	ホモジニアス系ビニル床タイル		FK-P	有孔無石綿セメントけい酸カルシウム板		LE		ラッカーエナメル塗り						
	TCP	タイルカーペット		F(CB)	木毛セメント板	QM-9701	A(BE)		アクリルエナメル塗料(焼付)						
	WCP	ウィルトンカーペット		FC	塩ビシート		X(BE)		エポキシ系塗料(焼付)						
	D(U)	弾性ウレタン塗床材		WS	和紙張り		F(BE)		ふっ素樹脂塗料(焼付)						
D(E)	エポキシ樹脂塗り床材					DP	耐候性塗料								
巾木				KC	クロス(裂地)	NM-9750～9841(金属板を除く)	防水	A防水	アスファルト防水						
				VC	ビニルクロス	NM-9888～9954(金属板・不燃せっこうボードを除く)		M防水	モルタル防水						
	VB	ビニル巾木		GC	ペンキ下地用ガラスクロス			S防水	シート防水						
	WB	木製巾木 OSCL仕上		DR	ロックウール化粧吸音板(フラットタイプ)	NM-8599		U防水	ウレタン系塗膜防水						
	VB(H)	ビニル巾木(長尺)		DR(凹凸)	ロックウール化粧吸音板(凹凸タイプ)										
	MB	モルタル巾木(金ゴテ)		DR(軒天)	ロックウール化粧吸音板(軒天井用：フラットタイプ)										
壁・天井				DR(軒天凹凸)	ロックウール化粧吸音板(軒天井用：凹凸タイプ)		ガラス	FL	透明板ガラス						
								PT	強化ガラス						
	J工法	せっこうボード(テーパー付)の縦目処理工法		PF	ポリスチレンフォーム保温板			FR	耐熱強化ガラス(透明)						
	GL工法	せっこうボードのせっこう系直張り用接着剤による直張り工法		RW-G	ロックウールガラスクロス張り	NM-8602		PW	網入ガラス						
				GW-G	グラスウールガラスクロス張り	NM-8606,NM-8610		FRP	FRP板						
				GB-R-H	硬質せっこうボード	NM-9645		A	空気層						
	GB-R	せっこうボード	t=9.5 QM-9828	GB-GR	ガラス繊維不織布入りせっこう板	NM-9354									
			t=12.5,15.0 NM-8612,NM-8619		両面ガラス繊維ネット張セメントモルタル板	NM-2083									

外部仕上げ表					
項目	仕上げ・仕様		項目	仕上げ・仕様	
屋根	・屋根(木造)	ガルバリウム鋼板、アスファルトルーフィング、押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種b t=105	教室外周部テラス(2F)	・床	ウッドデッキ:アセチル化木材、ウレタン塗膜防水
	・屋根(RC造)	ウレタン塗膜防水、勾配モルタル、押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種b t=105 (2FLのみ、ウレタン塗膜防水の上、押さえコンクリート)		・手摺	St DP塗装、アセチル化材
	・ルーフトレイン	鋳鉄製		・軒天(直下)	ケイカル板
	・設備隠し	St-L DP塗装	中庭テラス1,2(2F)	・床	ウッドデッキ、ウレタン塗膜防水
外壁	・外壁(木造)	シラス左官A・B・C、タイル、アセチル化木材	中庭1,2,3,4	・手摺	St-FB DP塗装、ヒノキ無垢
	・外壁(RC造)	シラス左官A・B・C、タイル、アセチル化木材、打ち放し		・軒天(直下)	木毛セメント板
	・パラペット	杉板型枠、笠木:ガルバリウム鋼板		・床	ウッドデッキ アセチル化材
	・竖樋	アルミ製 バンドレスタイプ		・屋外什器	-
渡り廊下	・床	土間コン	まちのみちテラス(2F)	・屋外階段1,2	路面:St DP塗装 手摺:St DP塗装
	・軒天	打ち放し		・植栽	-
外構	・床	ポーラスコンクリート、洗い出しコンクリート、洗い出しアスファルト、インターロッキング		・床	ウッドデッキ アセチル化材
	・階段	-		・手摺	St-FB DP塗装、ヒノキ無垢
	・ベンチ	-		・屋外階段3, 4	路面:St DP塗装 手摺:St DP塗装

内部仕上げ表1														※内部仕上げは全てF☆☆☆☆とする	
階	項目	室名	面積(㎡)	天井高(mm)	床		巾木 仕上げ	壁		天井		その他	VOC測定		
					仕上げ	下地		仕上げ	下地	仕上げ	下地				
1F	管理諸室	校長室・応接室	43.82	2,950	ビニル床タイル t=2	構造用合板 t=12	平巾木H=30	EP	鋼製下地の 上 GB-R t=9.5+12.5	木毛セメント板 t=14	鋼製下地の 上 RW吸音板 t=9 + GB-F t=12.5				
		職員室	173.09	2,950	ビニル床タイル t=2	構造用合板 t=12	平巾木H=30	EP	鋼製下地の 上 GB-R t=9.5+12.5	木毛セメント板 t=14	鋼製下地の 上 RW吸音板 t=9 + GB-F t=12.5				
		事務室	29.61	2,950	ビニル床タイル t=2	構造用合板 t=12	平巾木H=30	EP	鋼製下地の 上 GB-R t=9.5+12.5	木毛セメント板 t=14	鋼製下地の 上 RW吸音板 t=9 + GB-F t=12.5				
		学年倉庫1	8.72	3,700	ビニル床タイル t=2	構造用合板 t=12	平巾木H=30	EP、RC打ち放し	-	RC打ち放し	-				
		学年倉庫2	11.30	2,620	ビニル床タイル t=2	構造用合板 t=12	平巾木H=30	EP	鋼製下地の 上 GB-R t=9.5+12.5	岩綿吸音板 t=9	鋼製下地の 上 GB-R t=12.5				
		教材管理室	17.00	2,950	ビニル床タイル t=2	構造用合板 t=12	平巾木H=30	EP	鋼製下地の 上 GB-R t=9.5+12.5	木毛セメント板 t=14	鋼製下地の 上 RW吸音板 t=9 + GB-F t=12.5				
		倉庫1	13.80	2,950	ビニル床タイル t=2	構造用合板 t=12	平巾木H=30	EP	鋼製下地の 上 GB-R t=9.5+12.5	木毛セメント板 t=14	鋼製下地の 上 RW吸音板 t=9 + GB-F t=12.5				
		購買	5.17	2,950	ビニル床タイル t=2	構造用合板 t=12	平巾木H=30	EP	鋼製下地の 上 GB-R t=9.5+12.5	木毛セメント板 t=14	鋼製下地の 上 RW吸音板 t=9 + GB-F t=12.5				
		倉庫2	20.00	2,620	ビニル床タイル t=2	構造用合板 t=12	平巾木H=30	EP、RC打ち放し	-	岩綿吸音板 t=9	鋼製下地の 上 GB-R t=12.5				
		金庫室	14.00	2,950	ビニル床タイル t=2	構造用合板 t=12	平巾木H=30	EP	鋼製下地の 上 GB-R t=9.5+12.5	木毛セメント板 t=14	鋼製下地の 上 RW吸音板 t=9 + GB-F t=12.5				
		給湯室	14.91	2,620	ビニル床タイル t=2	構造用合板 t=12	SUS巾木H=30	EP、RC打ち放し	-	岩綿吸音板 t=9	鋼製下地の 上 GB-R t=12.5				
		職員用男性用WC	9.66	2,620	ビニル床タイル t=2	構造用合板 t=12	SUS巾木H=30	EP	鋼製下地の 上 GB-R t=9.5+12.5	岩綿吸音板 t=9	鋼製下地の 上 GB-R t=12.5				
		職員用女性用WC	8.97	2,620	ビニル床タイル t=2	構造用合板 t=12	SUS巾木H=30	EP	鋼製下地の 上 GB-R t=9.5+12.5	岩綿吸音板 t=9	鋼製下地の 上 GB-R t=12.5				
		職員用HWC	3.84	2,620	ビニル床タイル t=2	構造用合板 t=12	SUS巾木H=30	EP、RC打ち放し	鋼製下地の 上 GB-R t=9.5+12.5	岩綿吸音板 t=9	鋼製下地の 上 GB-R t=12.5				
		配膳室1(コンテナ室)	40.99	2,950	ビニル床タイル t=2	構造用合板 t=12	SUS巾木H=30	EP	鋼製下地の 上 GB-R t=9.5+12.5	木毛セメント板 t=14	鋼製下地の 上 RW吸音板 t=9 + GB-F t=12.5				
		保健室	50.49	2,737	ビニル床タイル t=2	構造用合板 t=12	平巾木H=30	EP	鋼製下地の 上 GB-R t=9.5+12.5	岩綿吸音板 t=9	鋼製下地の 上 GB-R t=12.5				
		個室(児童用シャワールーム)	9.43	2,620	ビニル床タイル t=2	構造用合板 t=12	平巾木H=30	EP、RC打ち放し	鋼製下地の 上 GB-R t=9.5+12.5	岩綿吸音板 t=9	鋼製下地の 上 GB-R t=12.5				
		教育相談室	10.60	2,620	ビニル床タイル t=2	構造用合板 t=12	平巾木H=30	EP	鋼製下地の 上 GB-R t=9.5+12.5	岩綿吸音板 t=9	鋼製下地の 上 GB-R t=12.5				
		消火ポンプ室	10.89	3,700	土間コン	-	-	EP、RC打ち放し	-	RC打ち放し	-				
		農機具倉庫	5.60	3, 700	土間コン	-	-	EP、RC打ち放し	-	RC打ち放し	-				
		1年生ティーチャーコーナー	36.58	2,950	ビニル床タイル t=2	構造用合板 t=12	平巾木H=30	EP	鋼製下地の 上 GB-R t=9.5+12.5	木毛セメント板 t=14	鋼製下地の 上 RW吸音板 t=9 + GB-F t=12.5				
		2年生ティーチャーコーナー	36.26	2,950	ビニル床タイル t=2	構造用合板 t=12	平巾木H=30	EP	鋼製下地の 上 GB-R t=9.5+12.5	木毛セメント板 t=14	鋼製下地の 上 RW吸音板 t=9 + GB-F t=12.5				

内部仕上り表2													
階	項目	室名	面積 (㎡)	天井高 (mm)	床		巾木	壁		天井		その他	VOC測定
					仕上り	下地	仕上り	仕上り	下地	仕上り	下地		
1F	児童エリア	昇降口1	152.50	2,770	ビニル床タイル t=2	構造用合板 t=12	平巾木H=30	EP、シラス左官	鋼製下地の上 GB-R t=9.5+12.5	岩綿吸音板 t=9	鋼製下地の上 GB-R t=12.5		
		昇降口2	21.74	2,950	ビニル床タイル t=2	構造用合板 t=12	平巾木H=30	EP	鋼製下地の上 GB-R t=9.5+12.5	木毛セメント板 t=14	鋼製下地の上 RW吸音板 t=9 + GB-F t=12.5		
		1年生 教室	普通教室 1-1	65.85	ビニル床タイル t=2	構造用合板 t=12	平巾木H=30	EP	鋼製下地の上 GB-R t=9.5+12.5	木毛セメント板 t=14	鋼製下地の上 RW吸音板 t=9 + GB-F t=12.5		
			普通教室 1-2	67.08	ビニル床タイル t=2	構造用合板 t=12	平巾木H=30	EP	鋼製下地の上 GB-R t=9.5+12.5	木毛セメント板 t=14	鋼製下地の上 RW吸音板 t=9 + GB-F t=12.5		
			普通教室 1-3	65.85	ビニル床タイル t=2	構造用合板 t=12	平巾木H=30	EP	鋼製下地の上 GB-R t=9.5+12.5	木毛セメント板 t=14	鋼製下地の上 RW吸音板 t=9 + GB-F t=12.5		
			オープンスペース	118.02	ビニル床タイル t=2	構造用合板 t=12	平巾木H=30	EP	鋼製下地の上 GB-R t=9.5+12.5	木毛セメント板 t=14	鋼製下地の上 RW吸音板 t=9 + GB-F t=12.5		
		2年生 教室	普通教室 2-1	65.85	ビニル床タイル t=2	構造用合板 t=12	平巾木H=30	EP	鋼製下地の上 GB-R t=9.5+12.5	木毛セメント板 t=14	鋼製下地の上 RW吸音板 t=9 + GB-F t=12.5		
			普通教室 2-2	67.08	ビニル床タイル t=2	構造用合板 t=12	平巾木H=30	EP	鋼製下地の上 GB-R t=9.5+12.5	木毛セメント板 t=14	鋼製下地の上 RW吸音板 t=9 + GB-F t=12.5		
			普通教室 2-3	67.08	ビニル床タイル t=2	構造用合板 t=12	平巾木H=30	EP	鋼製下地の上 GB-R t=9.5+12.5	木毛セメント板 t=14	鋼製下地の上 RW吸音板 t=9 + GB-F t=12.5		
			オープンスペース	155.98	ビニル床タイル t=2	構造用合板 t=12	平巾木H=30	EP	鋼製下地の上 GB-R t=9.5+12.5	木毛セメント板 t=14	鋼製下地の上 RW吸音板 t=9 + GB-F t=12.5		
			特別支援学級1	33.54	ビニル床タイル t=2	構造用合板 t=12	平巾木H=30	EP	鋼製下地の上 GB-R t=9.5+12.5	木毛セメント板 t=14	鋼製下地の上 RW吸音板 t=9 + GB-F t=12.5		
			特別支援学級2	32.31	ビニル床タイル t=2	構造用合板 t=12	平巾木H=30	EP	鋼製下地の上 GB-R t=9.5+12.5	木毛セメント板 t=14	鋼製下地の上 RW吸音板 t=9 + GB-F t=12.5		
		共用部		-	2,620～2,770	ビニル床タイル t=2	構造用合板 t=12	平巾木H=30	EP	鋼製下地の上 GB-R t=9.5+12.5	エキスパントメタル t=2.3	鋼製下地	
		マルチメディアセンター		214.09	2,950	ビニル床タイル t=2	構造用合板 t=12	平巾木H=30	EP	鋼製下地の上 GB-R t=9.5+12.5	木毛セメント板 t=14	鋼製下地の上 RW吸音板 t=9 + GB-F t=12.5	
		家庭科室		100.83	2,770	ビニル床タイル t=2	構造用合板 t=12	平巾木H=30	EP	鋼製下地の上 GB-R t=9.5+12.5	岩綿吸音板 t=9	鋼製下地の上 GB-R t=12.5	
		家庭科準備室		5.32	2,770	ビニル床タイル t=2	構造用合板 t=12	平巾木H=30	EP	鋼製下地の上 GB-R t=9.5+12.5	岩綿吸音板 t=9	鋼製下地の上 GB-R t=12.5	
		創作ラウンジ		116.07	2,770	ビニル床タイル t=2	構造用合板 t=12	平巾木H=30	EP	鋼製下地の上 GB-R t=9.5+12.5	岩綿吸音板 t=9	鋼製下地の上 GB-R t=12.5	
		収納(創作ラウンジ用)		8.78	3,700	ビニル床タイル t=2	構造用合板 t=12	平巾木H=30	EP、RC打ち放し	-	RC打ち放し	-	
		理科室		109.00	2,770	ビニル床タイル t=2	構造用合板 t=12	平巾木H=30	EP	鋼製下地の上 GB-R t=9.5+12.5	岩綿吸音板 t=9	鋼製下地の上 GB-R t=12.5	
		理科準備室		15.42	2,770	ビニル床タイル t=2	構造用合板 t=12	平巾木H=30	EP、RC打ち放し	-	岩綿吸音板 t=9	鋼製下地の上 GB-R t=12.5	
		男子用児童更衣室		13.02	2,620	ビニル床タイル t=2	構造用合板 t=12	平巾木H=30	EP、RC打ち放し	-	岩綿吸音板 t=9	鋼製下地の上 GB-R t=12.5	
		女子用児童更衣室		11.92	2,620	ビニル床タイル t=2	構造用合板 t=12	平巾木H=30	EP	鋼製下地の上 GB-R t=9.5+12.5	岩綿吸音板 t=9	鋼製下地の上 GB-R t=12.5	
		男子WC1		14.84	2,620	ビニル床タイル t=2	構造用合板 t=12	SUS巾木H=30	EP	鋼製下地の上 GB-R t=9.5+12.5	岩綿吸音板 t=9	鋼製下地の上 GB-R t=12.5	
		男子WC2		19.01	2,620	ビニル床タイル t=2	構造用合板 t=12	SUS巾木H=30	EP	鋼製下地の上 GB-R t=9.5+12.5	岩綿吸音板 t=9	鋼製下地の上 GB-R t=12.5	
		女子WC1		11.90	2,620	ビニル床タイル t=2	構造用合板 t=12	SUS巾木H=30	EP	鋼製下地の上 GB-R t=9.5+12.5	岩綿吸音板 t=9	鋼製下地の上 GB-R t=12.5	
		女子WC2		12.44	2,620	ビニル床タイル t=2	構造用合板 t=12	SUS巾木H=30	EP	鋼製下地の上 GB-R t=9.5+12.5	岩綿吸音板 t=9	鋼製下地の上 GB-R t=12.5	
		児童用HWC1		5.52	2,620	ビニル床タイル t=2	構造用合板 t=12	SUS巾木H=30	EP	鋼製下地の上 GB-R t=9.5+12.5	岩綿吸音板 t=9	鋼製下地の上 GB-R t=12.5	
2F	管理エリア	男性用教職員更衣室		7.23	2,550	ビニル床タイル t=2	構造用合板 t=12	平巾木H=30	EP	鋼製下地の上 GB-R t=9.5+12.5	岩綿吸音板 t=9	鋼製下地の上 GB-R t=12.5	
		女性用教職員更衣室		7.26	2,550	ビニル床タイル t=2	構造用合板 t=12	平巾木H=30	EP	鋼製下地の上 GB-R t=9.5+12.5	岩綿吸音板 t=9	鋼製下地の上 GB-R t=12.5	
		職員用シャワールーム		3.73	3,645	ビニル床タイル t=2	構造用合板 t=12	平巾木H=30	EP	鋼製下地の上 GB-R t=9.5+12.5	RC打ち放し	-	
		設備管理室・職員休憩室		7.40	2,550	ビニル床タイル t=2	構造用合板 t=12	平巾木H=30	EP	鋼製下地の上 GB-R t=9.5+12.5	岩綿吸音板 t=9	鋼製下地の上 GB-R t=12.5	
		放送室		19.53	2,550	ビニル床タイル t=2	構造用合板 t=12	平巾木H=30	EP	鋼製下地の上 GB-R t=9.5+12.5	岩綿吸音板 t=9	鋼製下地の上 GB-R t=12.5	
		3年生ティーチャーコーナー		35.91	2,670	ビニル床タイル t=2	構造用合板 t=12	平巾木H=30	EP	鋼製下地の上 GB-R t=9.5+12.5	岩綿吸音板 t=9	鋼製下地の上 GB-R t=12.5	
		4年生ティーチャーコーナー		27.59	2,670	ビニル床タイル t=2	構造用合板 t=12	平巾木H=30	EP	鋼製下地の上 GB-R t=9.5+12.5	岩綿吸音板 t=9	鋼製下地の上 GB-R t=12.5	
		5年生ティーチャーコーナー		45.49	2,670	ビニル床タイル t=2	構造用合板 t=12	平巾木H=30	EP	鋼製下地の上 GB-R t=9.5+12.5	岩綿吸音板 t=9	鋼製下地の上 GB-R t=12.5	
		6年生ティーチャーコーナー		45.59	2,670	ビニル床タイル t=2	構造用合板 t=12	平巾木H=30	EP	鋼製下地の上 GB-R t=9.5+12.5	岩綿吸音板 t=9	鋼製下地の上 GB-R t=12.5	

内部仕上げ表3														
階	項目	室名		面積 (㎡)	天井高 (mm)	床		巾木	壁		天井		その他	VOC測定
						仕上げ	下地	仕上げ	仕上げ	下地	仕上げ	下地		
2F	管理エリア	学年倉庫3		8.41	3,645	ビニル床タイル t=2	構造用合板 t=12	平巾木H=50	EP、RC打ち放し	鋼製下地の上 GB-R t=9.5+12.5	RC打ち放し	-		
		学年倉庫4		6.60	3,645	ビニル床タイル t=2	構造用合板 t=12	平巾木H=50	EP	鋼製下地の上 GB-R t=9.5+12.5	RC打ち放し	-		
		学年倉庫5		3.40	3,645	ビニル床タイル t=2	構造用合板 t=12	平巾木H=50	EP、RC打ち放し	鋼製下地の上 GB-R t=9.5+12.5	RC打ち放し	-		
		配膳室2		14.03	2,550	ビニル床タイル t=2	構造用合板 t=12	SUS巾木H=30	EP	鋼製下地の上 GB-R t=9.5+12.5	岩綿吸音板 t=9	鋼製下地の上 GB-R t=12.5		
2F	児童エリア	3年生 教室	普通教室 3-1	65.85	3,510	ビニル床タイル t=2	構造用合板 t=12	平巾木H=50	EP	鋼製下地の上 GB-R t=9.5+12.5	木毛セメント板 t=14	鋼製下地の上 RW吸音板 t=9+ GB-F t=12.5		
			普通教室 3-2	67.08	3,510	ビニル床タイル t=2	構造用合板 t=12	平巾木H=50	EP	鋼製下地の上 GB-R t=9.5+12.5	木毛セメント板 t=14	鋼製下地の上 RW吸音板 t=9+ GB-F t=12.5		
			普通教室 3-3	65.85	3,510	ビニル床タイル t=2	構造用合板 t=12	平巾木H=50	EP	鋼製下地の上 GB-R t=9.5+12.5	木毛セメント板 t=14	鋼製下地の上 RW吸音板 t=9+ GB-F t=12.5		
			オープンスペース	140.38	3,510	ビニル床タイル t=2	構造用合板 t=12	平巾木H=50	EP	鋼製下地の上 GB-R t=9.5+12.5	木毛セメント板 t=14	鋼製下地の上 RW吸音板 t=9+ GB-F t=12.5		
		4年生 教室	普通教室 4-1	65.85	3,510	ビニル床タイル t=2	構造用合板 t=12	平巾木H=50	EP	鋼製下地の上 GB-R t=9.5+12.5	木毛セメント板 t=14	鋼製下地の上 RW吸音板 t=9+ GB-F t=12.5		
			普通教室 4-2	67.08	3,510	ビニル床タイル t=2	構造用合板 t=12	平巾木H=50	EP	鋼製下地の上 GB-R t=9.5+12.5	木毛セメント板 t=14	鋼製下地の上 RW吸音板 t=9+ GB-F t=12.5		
			普通教室 4-3	65.85	3,510	ビニル床タイル t=2	構造用合板 t=12	平巾木H=50	EP	鋼製下地の上 GB-R t=9.5+12.5	木毛セメント板 t=14	鋼製下地の上 RW吸音板 t=9+ GB-F t=12.5		
			オープンスペース	139.90	3,510	ビニル床タイル t=2	構造用合板 t=12	平巾木H=50	EP	鋼製下地の上 GB-R t=9.5+12.5	木毛セメント板 t=14	鋼製下地の上 RW吸音板 t=9+ GB-F t=12.5		
		5年生 教室	普通教室 5-1	65.85	3,510	ビニル床タイル t=2	構造用合板 t=12	平巾木H=50	EP	鋼製下地の上 GB-R t=9.5+12.5	木毛セメント板 t=14	鋼製下地の上 RW吸音板 t=9+ GB-F t=12.5		
			普通教室 5-2	67.08	3,510	ビニル床タイル t=2	構造用合板 t=12	平巾木H=50	EP	鋼製下地の上 GB-R t=9.5+12.5	木毛セメント板 t=14	鋼製下地の上 RW吸音板 t=9+ GB-F t=12.5		
			普通教室 5-3	65.85	3,510	ビニル床タイル t=2	構造用合板 t=12	平巾木H=50	EP	鋼製下地の上 GB-R t=9.5+12.5	木毛セメント板 t=14	鋼製下地の上 RW吸音板 t=9+ GB-F t=12.5		
			オープンスペース	141.23	3,510	ビニル床タイル t=2	構造用合板 t=12	平巾木H=50	EP	鋼製下地の上 GB-R t=9.5+12.5	木毛セメント板 t=14	鋼製下地の上 RW吸音板 t=9+ GB-F t=12.5		
		6年生 教室	普通教室 6-1	65.85	3,510	ビニル床タイル t=2	構造用合板 t=12	平巾木H=50	EP	鋼製下地の上 GB-R t=9.5+12.5	木毛セメント板 t=14	鋼製下地の上 RW吸音板 t=9+ GB-F t=12.5		
			普通教室 6-2	67.08	3,510	ビニル床タイル t=2	構造用合板 t=12	平巾木H=50	EP	鋼製下地の上 GB-R t=9.5+12.5	木毛セメント板 t=14	鋼製下地の上 RW吸音板 t=9+ GB-F t=12.5		
			普通教室 6-3	65.85	3,510	ビニル床タイル t=2	構造用合板 t=12	平巾木H=50	EP	鋼製下地の上 GB-R t=9.5+12.5	木毛セメント板 t=14	鋼製下地の上 RW吸音板 t=9+ GB-F t=12.5		
			オープンスペース	117.66	3,510	ビニル床タイル t=2	構造用合板 t=12	平巾木H=50	EP	鋼製下地の上 GB-R t=9.5+12.5	木毛セメント板 t=14	鋼製下地の上 RW吸音板 t=9+ GB-F t=12.5		
			特別支援学級3	31.86	2,670	ビニル床タイル t=2	構造用合板 t=12	平巾木H=50	EP	鋼製下地の上 GB-R t=9.5+12.5	岩綿吸音板 t=9	鋼製下地の上 GB-R t=12.5		
			特別支援学級4	31.86	2,670	ビニル床タイル t=2	構造用合板 t=12	平巾木H=50	EP	鋼製下地の上 GB-R t=9.5+12.5	岩綿吸音板 t=9	鋼製下地の上 GB-R t=12.5		
			特別支援学級5	31.23	2,670	ビニル床タイル t=2	構造用合板 t=12	平巾木H=50	EP	鋼製下地の上 GB-R t=9.5+12.5	岩綿吸音板 t=9	鋼製下地の上 GB-R t=12.5		
			特別支援学級6	28.68	2,670	ビニル床タイル t=2	構造用合板 t=12	平巾木H=50	EP	鋼製下地の上 GB-R t=9.5+12.5	岩綿吸音板 t=9	鋼製下地の上 GB-R t=12.5		
		共用部		-	2,550～2,670	ビニル床タイル t=2	構造用合板 t=12	平巾木H=50	EP	鋼製下地の上 GB-R t=9.5+12.5	エキスパントメタル t=2.3	鋼製下地		
		音楽室		94.97	2,670	ビニル床タイル t=2	構造用合板 t=12	平巾木H=50	EP	鋼製下地の上 GB-R t=9.5+12.5	岩綿吸音板 t=9	鋼製下地の上 GB-R t=12.5		
		音楽準備室		20.26	2,670	ビニル床タイル t=2	構造用合板 t=12	平巾木H=50	EP	鋼製下地の上 GB-R t=9.5+12.5	岩綿吸音板 t=9	鋼製下地の上 GB-R t=12.5		
		男子WC3		19.37	2,550	ビニル床タイル t=2	構造用合板 t=12	SUS巾木H=30	EP	鋼製下地の上 GB-R t=9.5+12.5	岩綿吸音板 t=9	鋼製下地の上 GB-R t=12.5		
		男子WC4		18.52	2,550	ビニル床タイル t=2	構造用合板 t=12	SUS巾木H=30	EP	鋼製下地の上 GB-R t=9.5+12.5	岩綿吸音板 t=9	鋼製下地の上 GB-R t=12.5		
		女子WC3		15.86	2,550	ビニル床タイル t=2	構造用合板 t=12	SUS巾木H=30	EP	鋼製下地の上 GB-R t=9.5+12.5	岩綿吸音板 t=9	鋼製下地の上 GB-R t=12.5		
		女子WC4		16.80	2,550	ビニル床タイル t=2	構造用合板 t=12	SUS巾木H=30	EP	鋼製下地の上 GB-R t=9.5+12.5	岩綿吸音板 t=9	鋼製下地の上 GB-R t=12.5		
		児童用HWC2		4.26	2,550	ビニル床タイル t=2	構造用合板 t=12	SUS巾木H=30	EP	鋼製下地の上 GB-R t=9.5+12.5	岩綿吸音板 t=9	鋼製下地の上 GB-R t=12.5		